

まちづくり町民アンケート調査 結果報告書

令和2年3月
三重県 大台町

目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 報告書の見方.....	1
II 調査結果.....	2
1. あなた自身について.....	2
2. 大台町での生活について.....	12
3. これからのまちづくりについて.....	29

I 調査の概要

1. 調査の目的

まちづくりの総合的な指針である「第2次大台町総合計画」の前期基本計画が最終年度を迎えることから、これまでの取り組みを振り返り、今後のまちづくりの基礎資料とするため、第2次総合計画の策定時に実施した調査内容を基本とした「まちづくり町民アンケート調査」を実施しました。

2. 調査概要

- 調査対象者 : 大台町在住で、18歳以上の男女
- 調査票配布数 : 2,000件（無作為抽出）
- 調査期間 : 令和2年1月6日～1月20日
- 調査方法 : 郵送による配布・回収（無記名で回答）

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000件	810件	40.5%

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

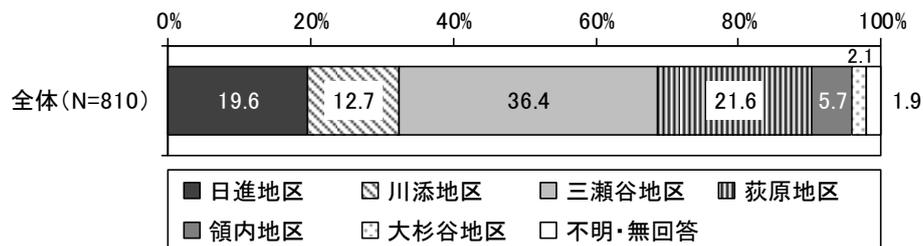
II 調査結果

1. あなた自身について

問1 お住まいの地区（単数）

住んでいる地区についてみると、「三瀬谷地区」が36.4%と最も高く、次いで「荻原地区」が21.6%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「三瀬谷地区」が最も高く、次いで30-40歳代は「日進地区」、その他の年代では「荻原地区」が高くなっています。

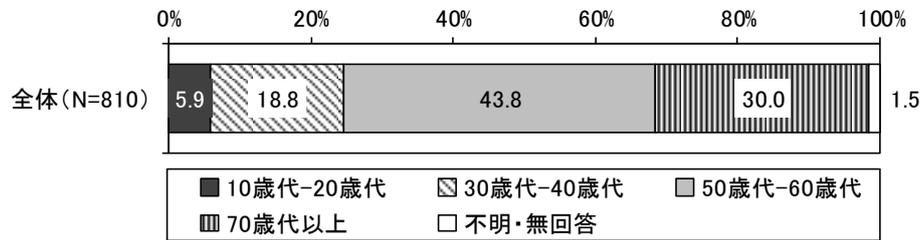


問1 地区 × 年齢

上段:度数 下段:%	【問1】 あなたのお住まいの地区							
	合計	日進地区	川添地区	三瀬谷地区	荻原地区	領内地区	大杉谷地区	不明・無回答
全体	810 100.0	159 19.6	103 12.7	295 36.4	175 21.6	46 5.7	17 2.1	15 1.9
10歳代-20歳代	48 100.0	10 20.8	7 14.6	15 31.3	12 25.0	3 6.3	0 0.0	1 2.1
30歳代-40歳代	152 100.0	41 27.0	14 9.2	50 32.9	37 24.3	8 5.3	2 1.3	0 0.0
50歳代-60歳代	355 100.0	63 17.7	53 14.9	138 38.9	74 20.8	23 6.5	3 0.8	1 0.3
70歳代以上	243 100.0	45 18.5	29 11.9	92 37.9	52 21.4	12 4.9	12 4.9	1 0.4
不明・無回答	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 100.0

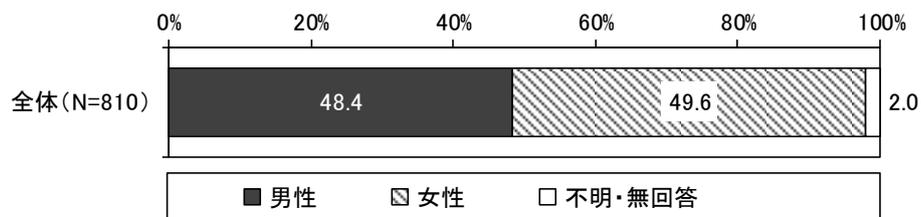
問2 年齢（単数）

回答者の年齢についてみると、「50歳代-60歳代」が43.8%と最も高く、次いで「70歳代以上」が30.0%となっています。



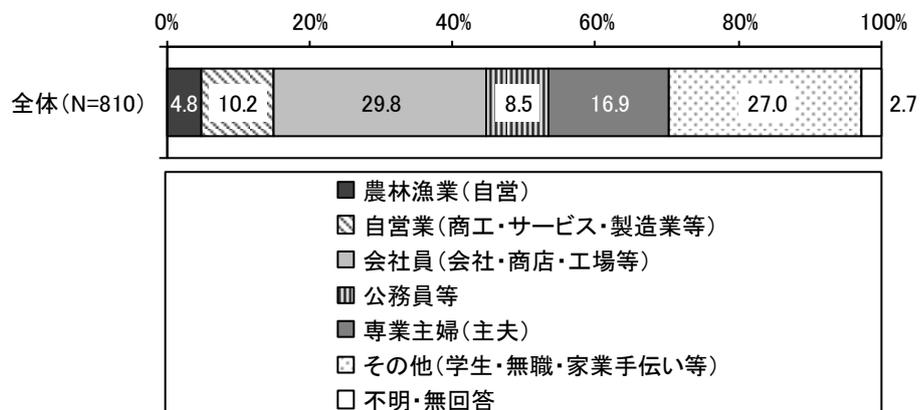
問3 性別（単数）

回答者の性別についてみると、「男性」が48.4%、「女性」が49.6%となっています。



問4 職業（単数）

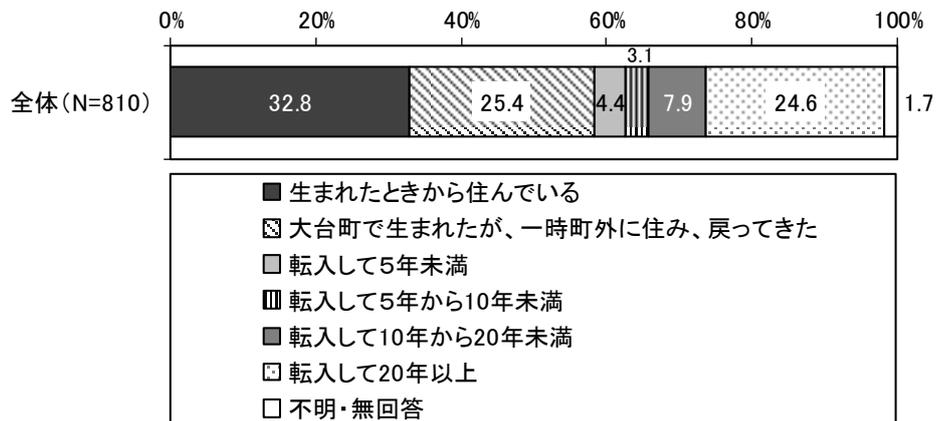
回答者の職業についてみると、「その他」を除いて「会社員」が29.8%と最も高く、次いで「専業主婦（主夫）」が16.9%となっています。



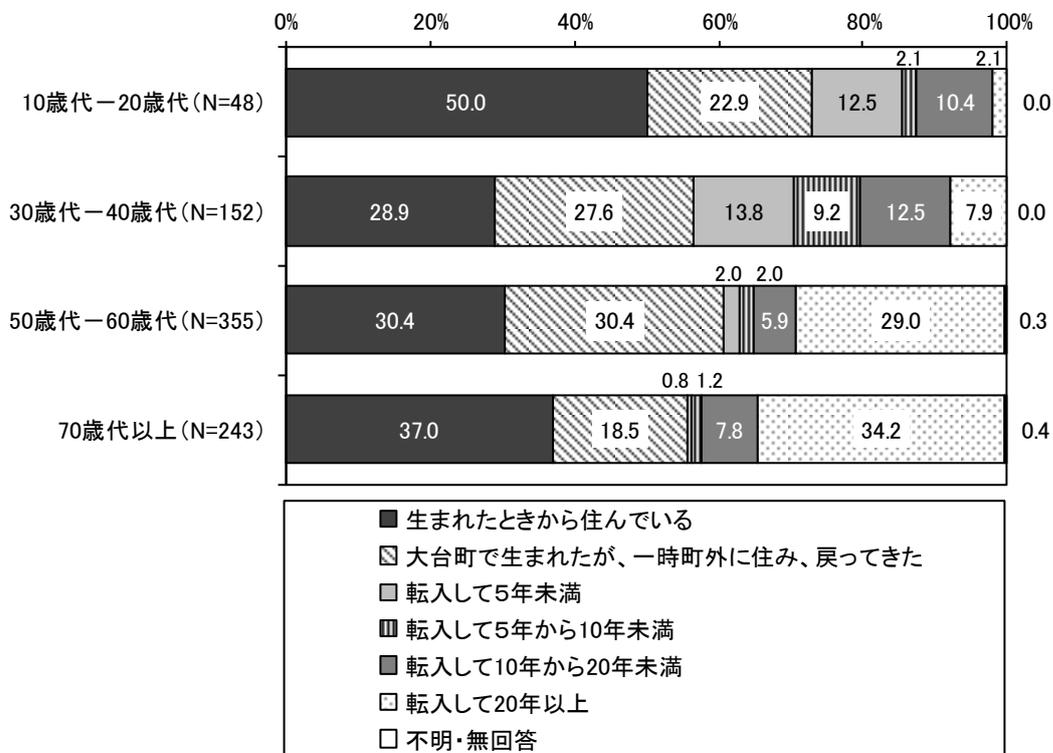
問5 居住歴（単数）

回答者の居住歴についてみると、「生まれたときから住んでいる」が32.8%と最も高く、次いで「大台町で生まれたが、一時町外に住み、戻ってきた」が25.4%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「生まれたときから住んでいる」が最も高くなっています。50歳代－60歳代では「大台町で生まれたが、一時町外に住み、戻ってきた」も最も高くなっています。



問5 居住歴 × 年齢

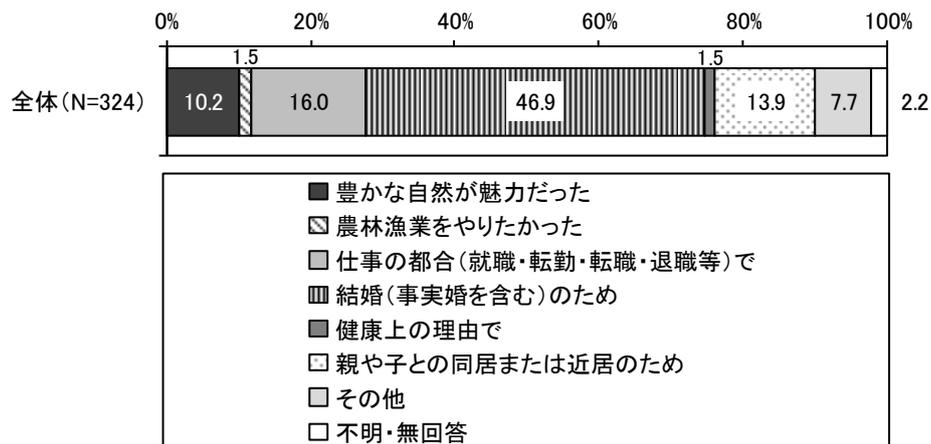


問5で「3. 転入して5年未満」「4. 転入して5年から10年未満」「5. 転入して10年から20年未満」「6. 転入して20年以上」のいずれかを答えた方

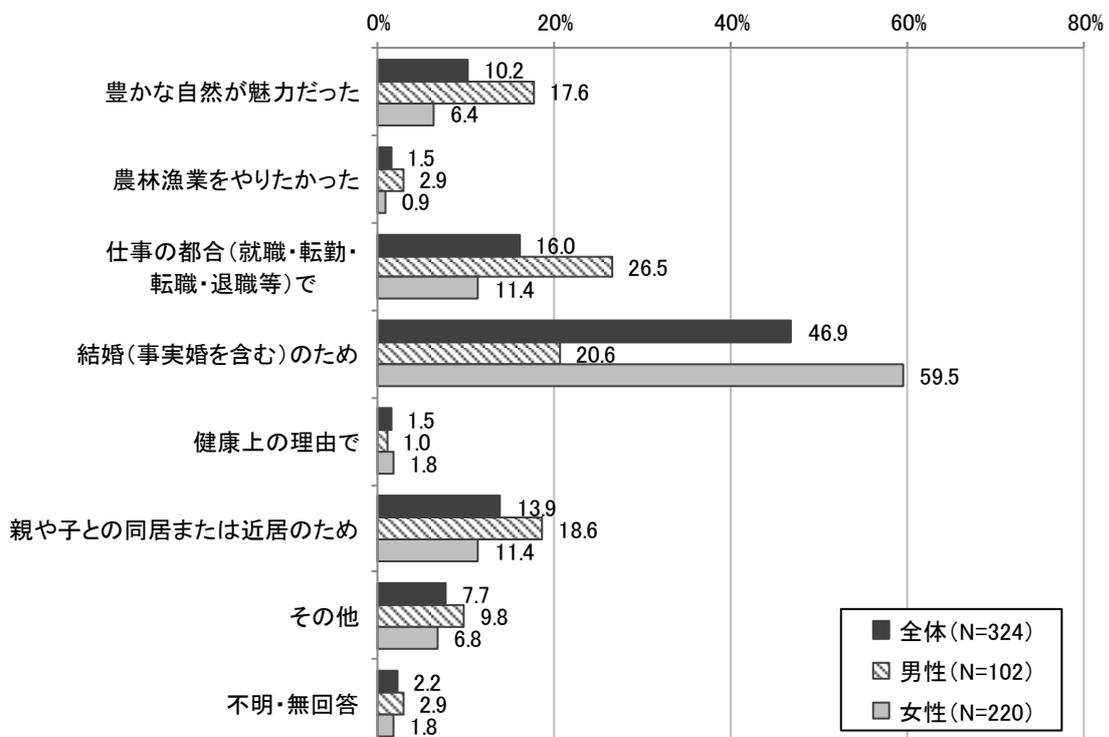
問6 転入したきっかけ（単数）

回答者の転入したきっかけについてみると、「結婚のため」が46.9%と最も高く、次いで「仕事の都合で」が16.0%となっています。

男女別にみると、男性では「仕事の都合で」が26.5%と最も高く、女性では「結婚のため」が59.5%と最も高くなっています。



問6 転入したきっかけ × 性別

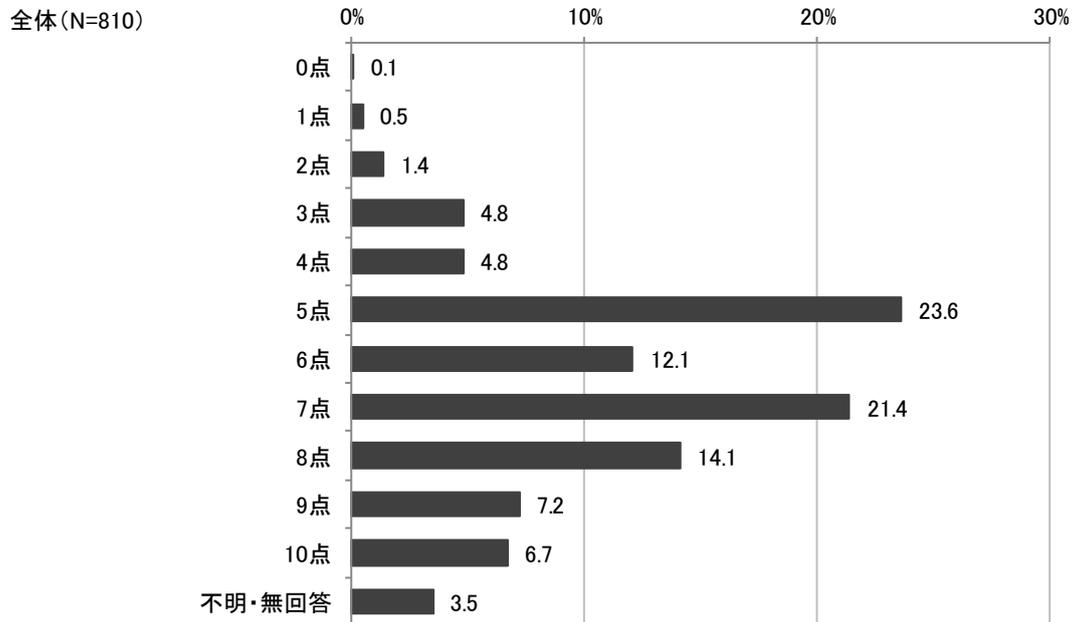


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
両親の転入に合わせて	6
仕事の都合	3
実家・生まれた場所	3
家族・家庭の都合	2
土地の都合	2
いい移住物件が見つかったため	1
アユ・アナゴ釣りがしたかった	1

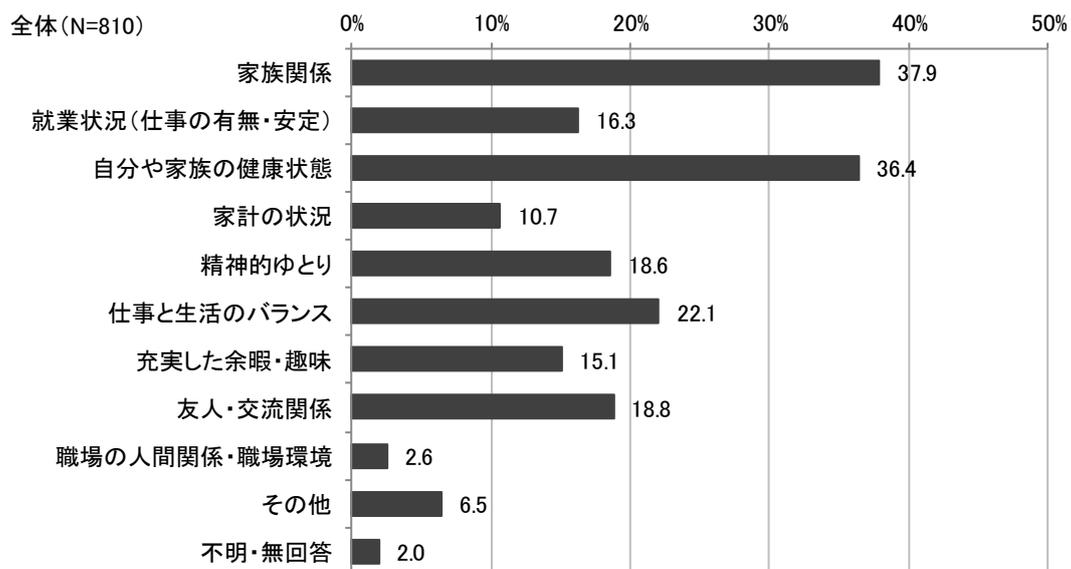
問7 大台町で暮らすうえでの幸福度（単数）

回答者の幸福度についてみると、「5点」が23.6%と最も高く、次いで「7点」が21.4%となっています。



問8 幸福感を判断する際に、重視した事項（2つまで複数）

幸福感を判断する際に、重視した事項についてみると、「家族関係」が37.9%と最も高く、次いで「自分や家族の健康状態」が36.4%となっています。

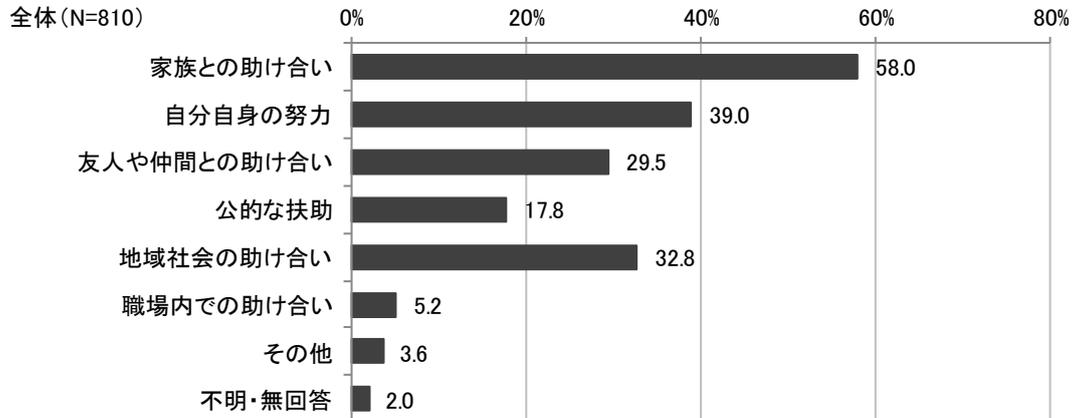


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
自然環境	14
交通手段の利便性	5
場所・地理	4
近所付き合い	2
店が少ない	2
生活環境	2
医療の町大台町と医療関係者から聞いたことがある。より一層の手当の継続を	1
田舎者の陰湿さ	1
災害がない	1
過疎化	1
空気が綺麗	1
メタ認知	1
自分自身の気持ちの持ち方・考え方	1
45年間の大台の生活を大事にしたい	1
老後の不安	1
大台町にある買い物や病院、レジャー施設などが充実していない	1
国道まで出て行かなければ何も無い。田舎特有の人の批判が多い。不便	1
子育て	1

問9 幸福感を高めるためにできる手立て（2つまで複数）

幸福感を高めるためにできる手立てについてみると、「家族との助け合い」が58.0%と最も高く、次いで「自分自身の努力」が39.0%となっています。

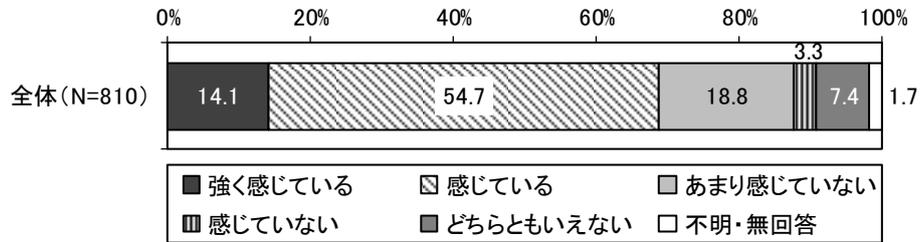


その他を選択した方の回答内容

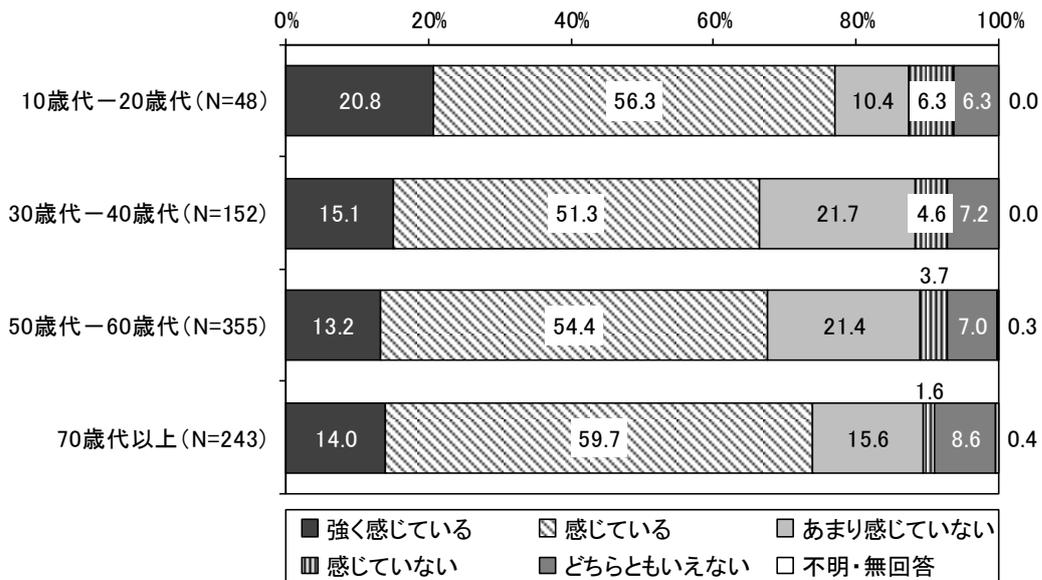
内容	件数
経済・仕事	5
住みやすさ	4
移住・転居	3
人間関係	2
健康	1
田舎ならではのしがらみをなくす	1
選択肢が増える事	1
当人に言いにくい	1
物事の見方	1
何とか生活していける事	1
どんなことでも受け入れられる自分である事	1
あきらめ	1
自分より不幸な方がいることを意識する	1

問 10 大台町への愛着（単数）

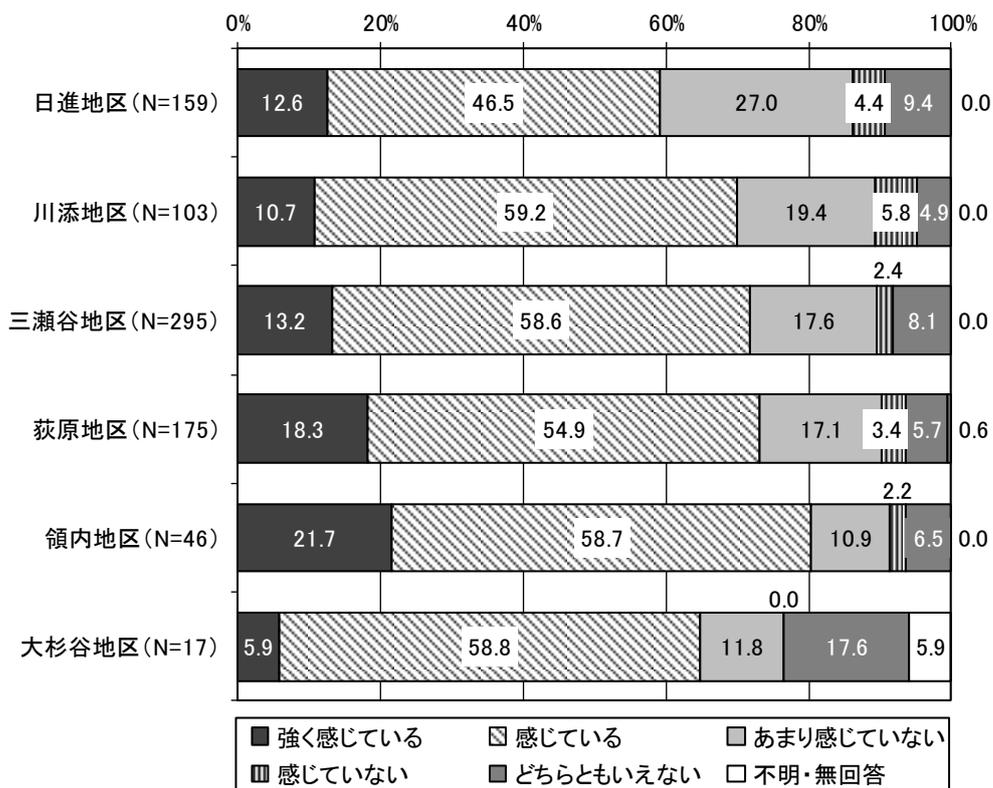
大台町への愛着についてみると、『感じている』（「強く感じている」、「感じている」の合計）が68.8%と最も高く、次いで『感じていない』（「感じていない」、「あまり感じていない」の合計）が22.1%となっています。また、『感じている』と回答している方について集計区分ごとにもみると、年齢別では「70歳代以上」、地区別では「川添地区」がそれぞれ最も高くなっています。



問 10 大台町への愛着 × 年齢



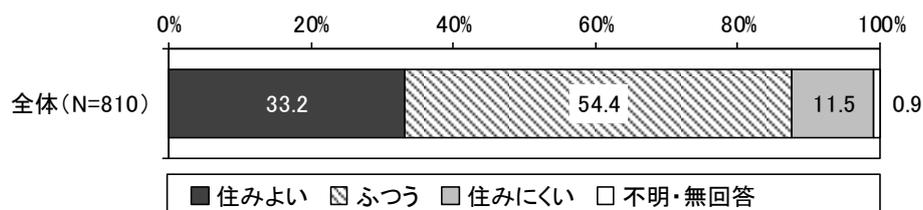
問 10 大台町への愛着 × 地区



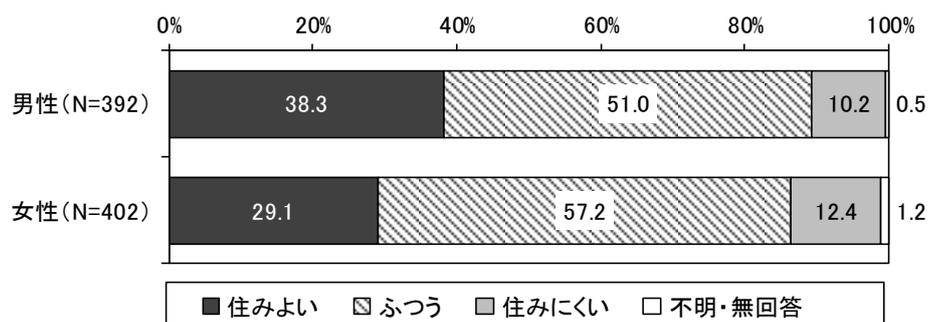
2. 大台町での生活について

問 11 大台町の住みやすさ（単数）

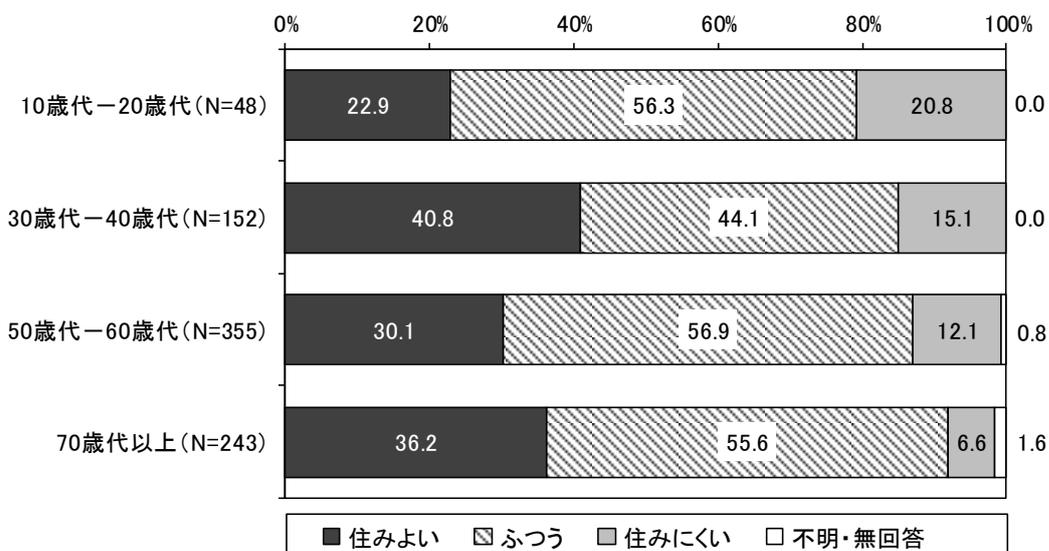
大台町は住みよいかについてみると、「ふつう」が 54.4%と最も高く、次いで「住みよい」が 33.2%、「住みにくい」が 11.5%となっています。また、「住みよい」と回答している方について集計区分ごとにみると、男女別では「男性」、年齢別では「30 歳代－40 歳代」、住んでいる年数別では「転入してきた（10 年未満）」、地区別では「三瀬谷地区」でそれぞれ最も高くなっています。



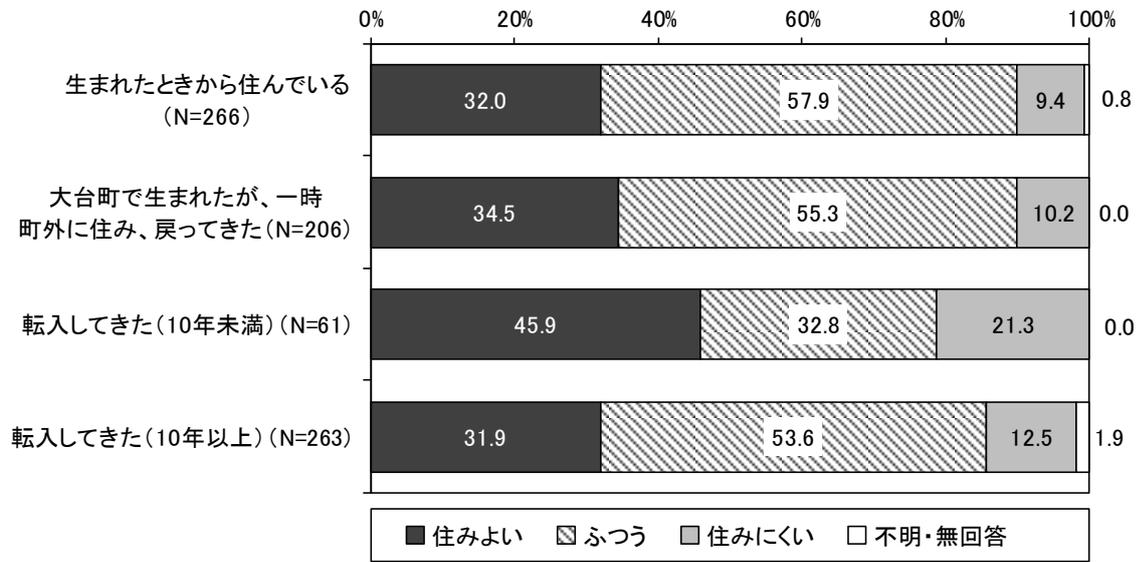
問 11 大台町は住みよいか × 性別



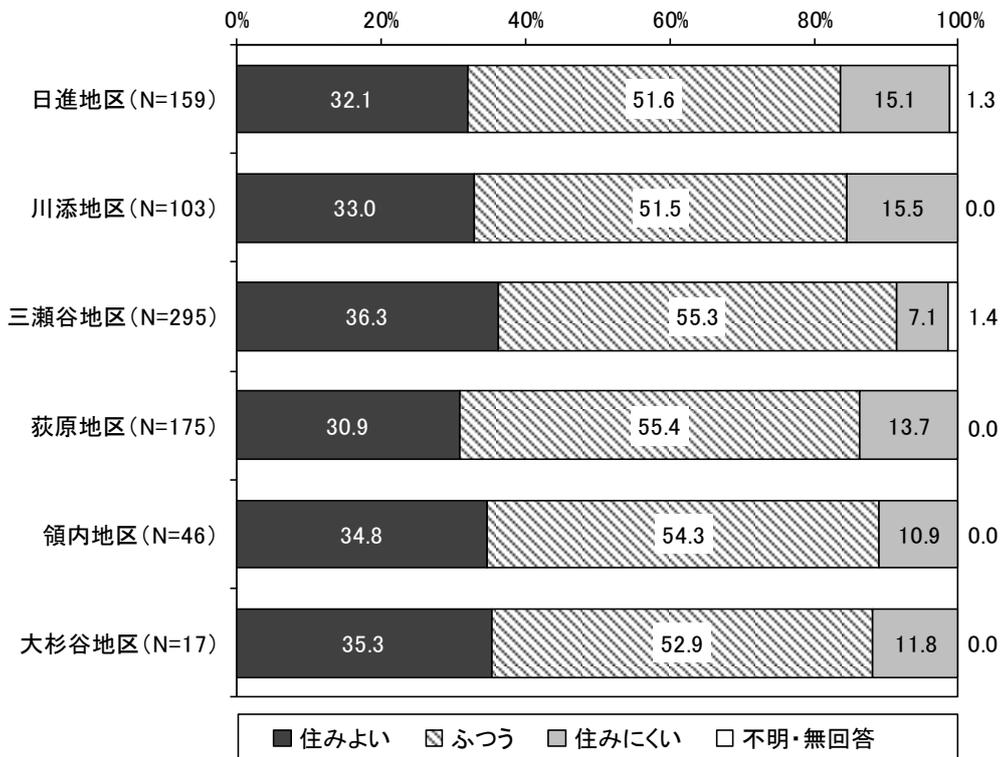
問 11 大台町は住みよいか × 年齢



問 11 大台町は住みよいか × 住んでいる年数



問 11 大台町は住みよいか × 地区

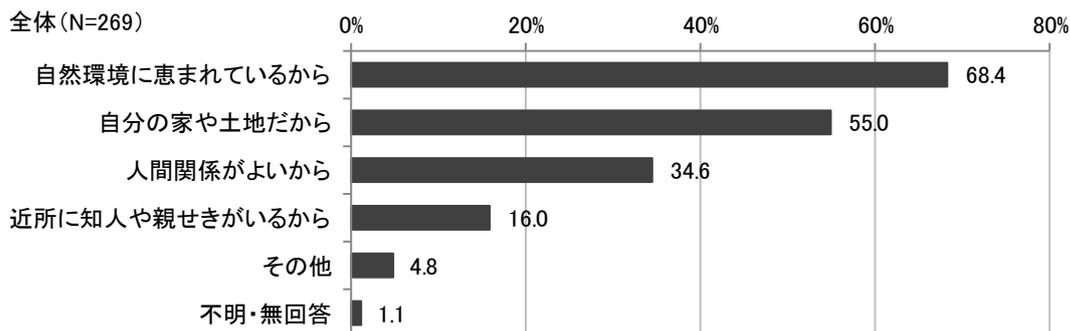


問 11 で「1. 住みよい」と答えた方

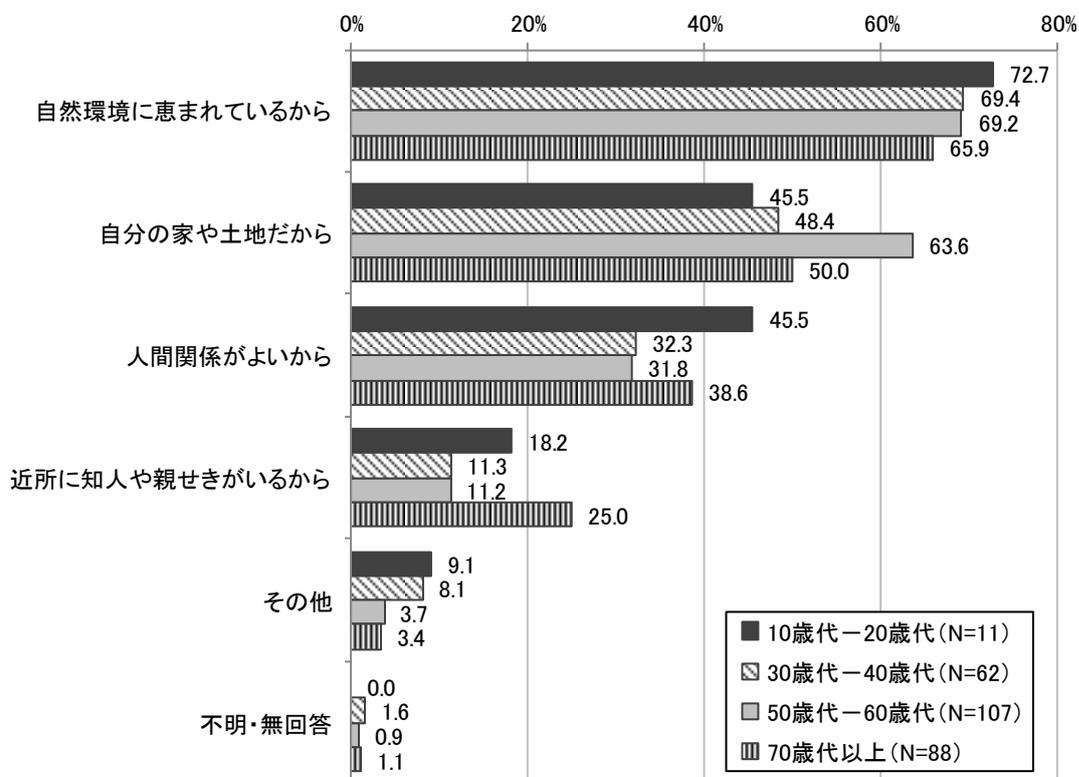
問 12 住みよいと思う理由（2つまで複数）

大台町は住みよいと思う理由についてみると、「自然環境に恵まれているから」が68.4%と最も高く、次いで「自分の家や土地だから」が55.0%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「自然環境に恵まれているから」が最も高く、次いで「自分の家や土地だから」が高くなっています。10歳代～20歳代では「人間関係がよいから」も高くなっています。



問 12 住みよいと思う理由 × 年齢



その他を選択した方の回答内容

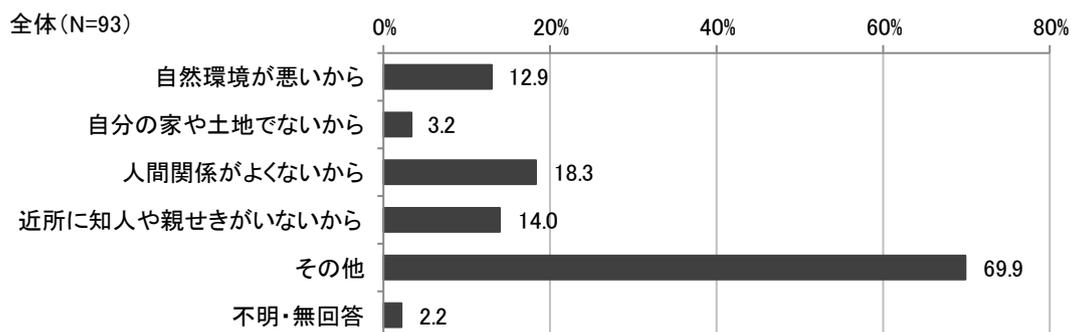
内容	件数
生活環境	7
交通の便	3
子育て環境	2
仕事	2

問 11 で「3. 住みにくい」と答えた方

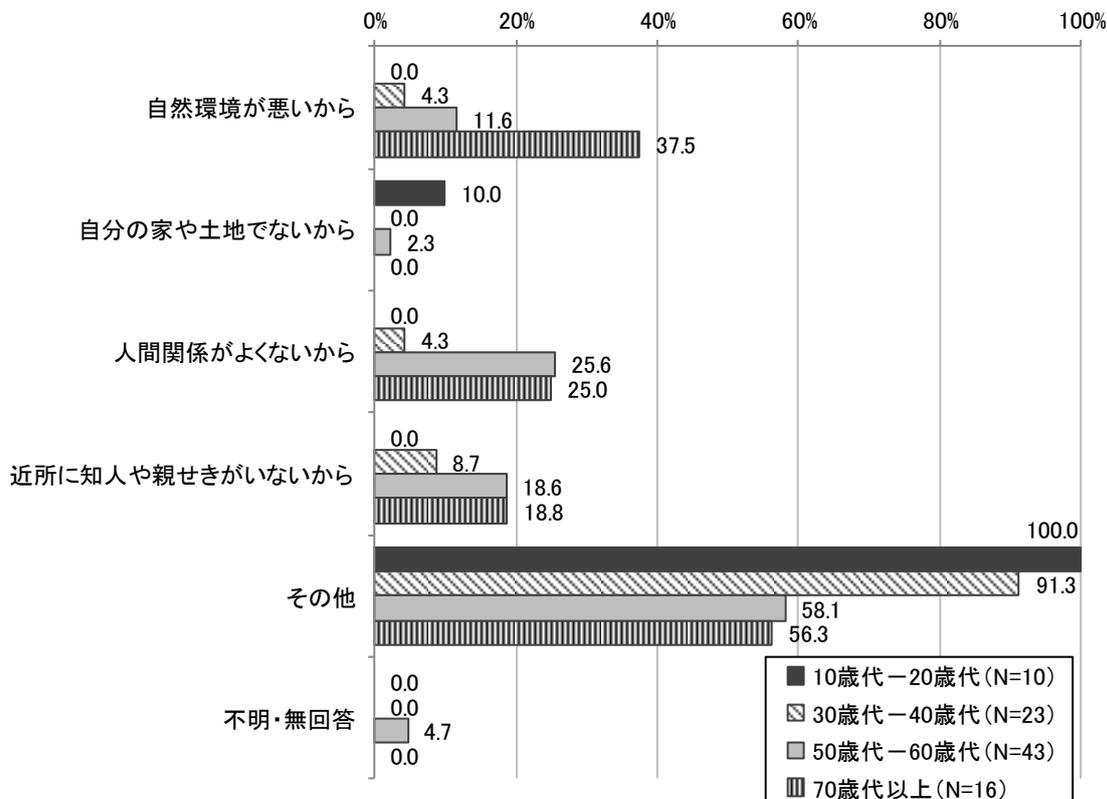
問 13 住みにくいと思う理由（2つまで複数）

住みにくいと思う理由についてみると、「その他」を除いて「人間関係がよくないから」が 18.3% と最も高く、次いで「近所に知人や親せきがないから」が 14.0% となっています。

年齢別にみると、10 歳代—20 歳代では「自分の家や土地でないから」、30 歳代—40 歳代では「近所に知人や親せきがないから」、50 歳代—60 歳代では「人間関係がよくないから」、70 歳代以上では「自然環境が悪いから」がそれぞれ高くなっています。



問 13 住みにくいと思う理由 × 年齢

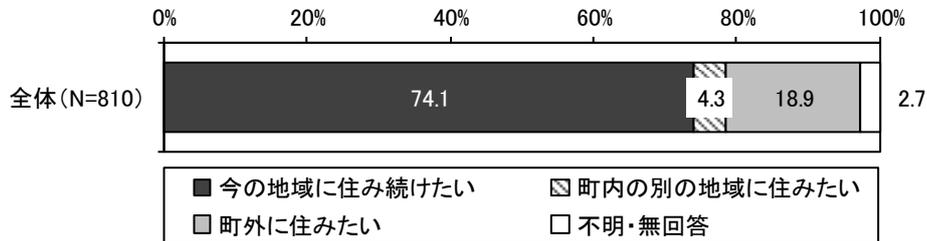


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
交通・立地	17
日常生活	14
利便性	9
仕事	5
子育て・教育	4
インフラ	3
福祉	3
未発展すぎる	1
産業が少なく、人口減だから	1
何のために税金を払っているのか不明	1
働く場所が無い。何にもない	1
生活環境	1
バランスが良くない。役人は本当に町民のために働いているのか	1
先行きの不安	1
楽しみ方が未だ分からない	1
多方面で選択肢がない	1
町内の人考え方など(行政)	1

問 14 お住まいの地域に、今後も住み続けたいか（単数）

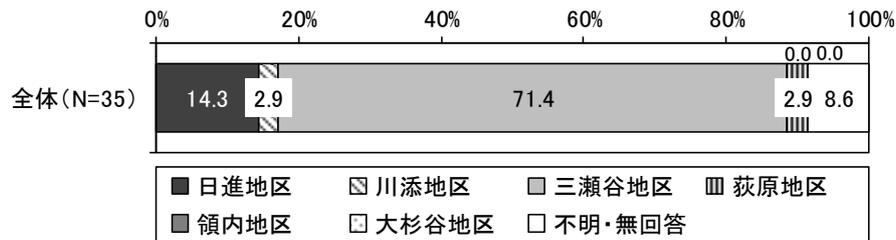
お住まいの地域に、今後も住み続けたいかについてみると、「今の地域に住み続けたい」が74.1%と最も高く、次いで「町外に住みたい」が18.9%となっています。



問 14 で「2. 町内の別の地域に住みたい」と答えた方

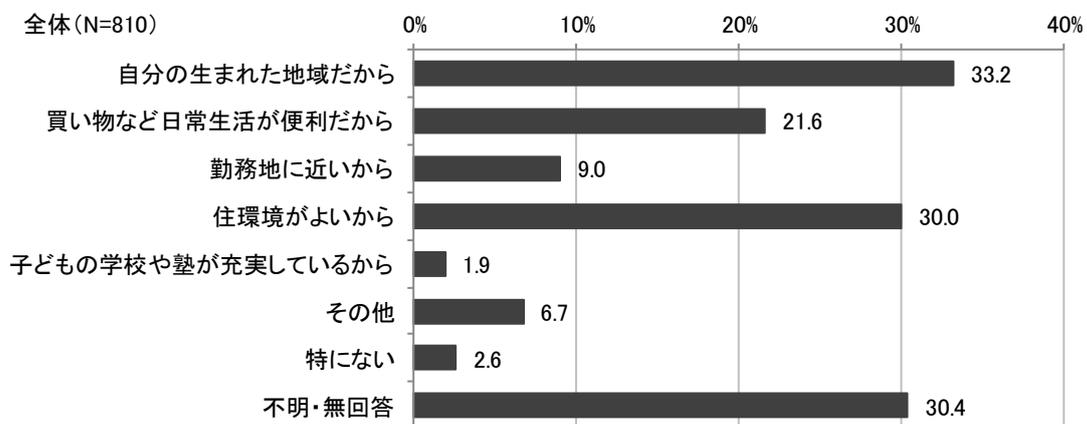
問 15 住みたい地域（単数）

住みたい地域についてみると、「三瀬谷地区」が71.4%と最も高く、次いで「日進地区」が14.3%となっています。



問 16 その地区に住みたい理由（2つまで複数）

その地区に住みたい理由についてみると、「自分の生まれた地域だから」が33.2%と最も高く、次いで「住環境がよいから」が30.0%となっています。

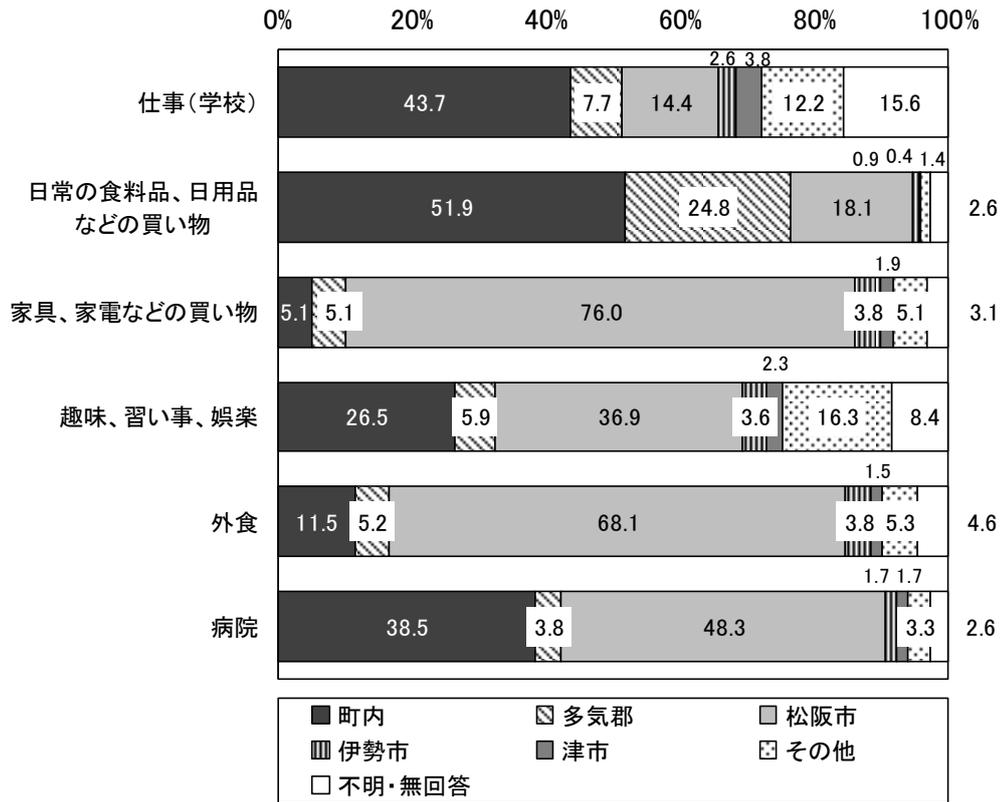


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
家・土地があるから	8
家族	8
人間関係	6
自然環境	6
住みやすさ	6
慣れ親しんでいるから	1
長い間住んでいるから	1
結婚を機に引っ越してきたからどうしようもない	1
嫁ぎ先だから	1
現在地では老後の淋しさに不安があるから	1
わからない	1
DNA	1
今後も期待できる場所。楽しみな場所だと思うから	1
もう年だ	1
子育て支援センターが近いから	1
仕事を選べるから	1

問 17 次の行動をとる場合、どこへ出かけるか（項目ごとに単数）

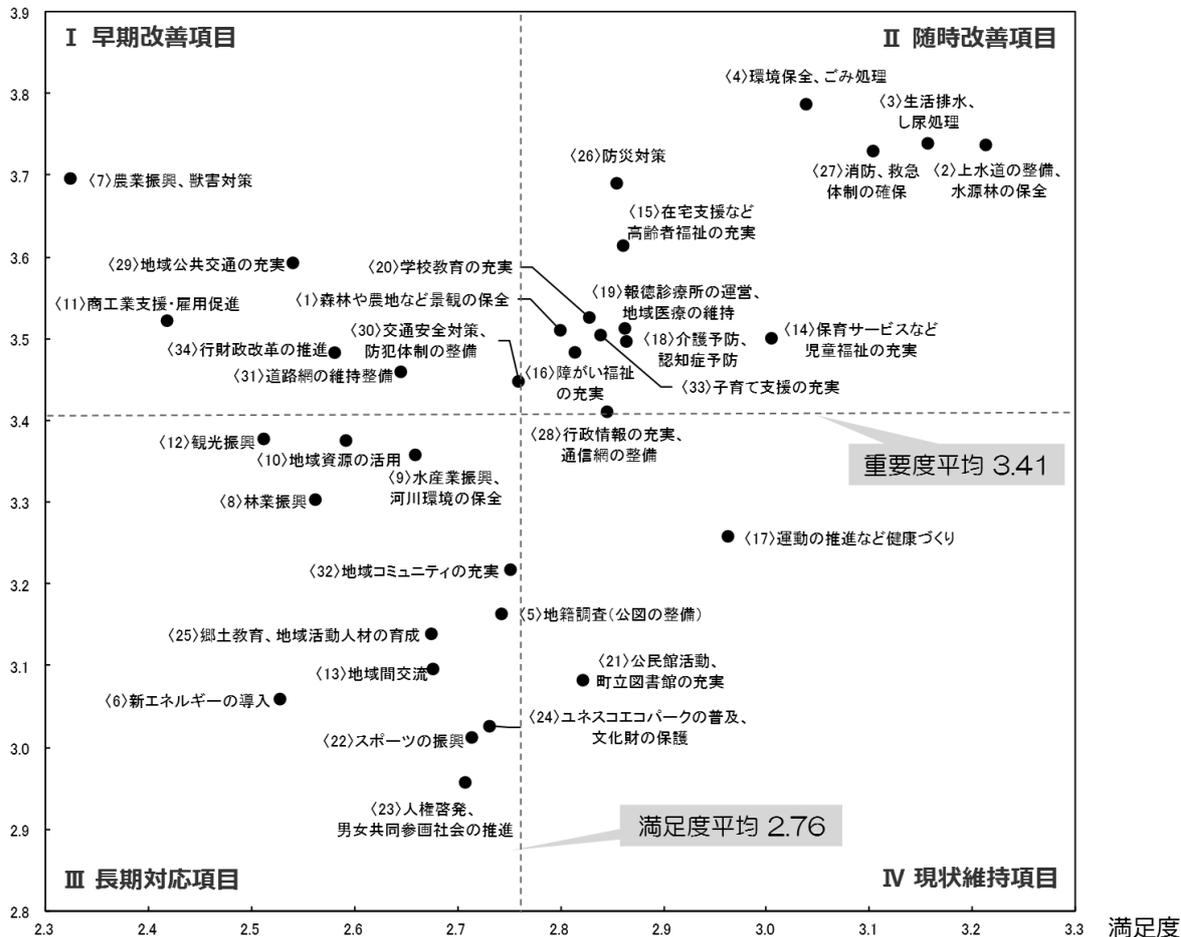
次のような行動をとる場合、それぞれどこへ出かけるかについてみると、「町内」が仕事（学校）では43.7%、日常の食料品、日用品などの買い物では51.9%と最も高くなっています。また、「松阪市」が家具、家電などの買い物では76.0%、趣味、習い事、娯楽では36.9%、外食では68.1%、病院では48.3%と最も高くなっています。



問 18 現在の太台町の暮らしやすさに対する評価（項目ごとの満足度と重要度について単数）

＜タイプⅠ＞早期改善項目に分類される施策には、「〈7〉 農業振興、獣害対策」、「〈11〉 商工業支援・雇用促進」、「〈29〉 地域公共交通の充実」などがあがっています。

重要度



【重要度と満足度の関係】

<p>＜タイプⅠ＞早期改善項目 （重要度は高いが、満足度は低い） ⇒現在の施策や事務事業を優先して改革・改善すべき施策の分野</p>	<p>＜タイプⅡ＞随時改善項目 （重要度が高く、満足度も高い） ⇒今後も継続して事業に取り組めるよう、事業費が過大となっていないか点検するとともに、さらなる事業の効率化を検討する施策の分野</p>
<p>＜タイプⅢ＞長期対応項目 （重要度が低く、満足度も低い） ⇒施策の重要性に対する認知を高めるとともに、取組みの方向の改善を検討する施策の分野</p>	<p>＜タイプⅣ＞現状維持項目 （重要度は低く、満足度が高い） ⇒今後も着実に事業の推進を図るとともに、施策の重要性についての認知を高める施策の分野</p>

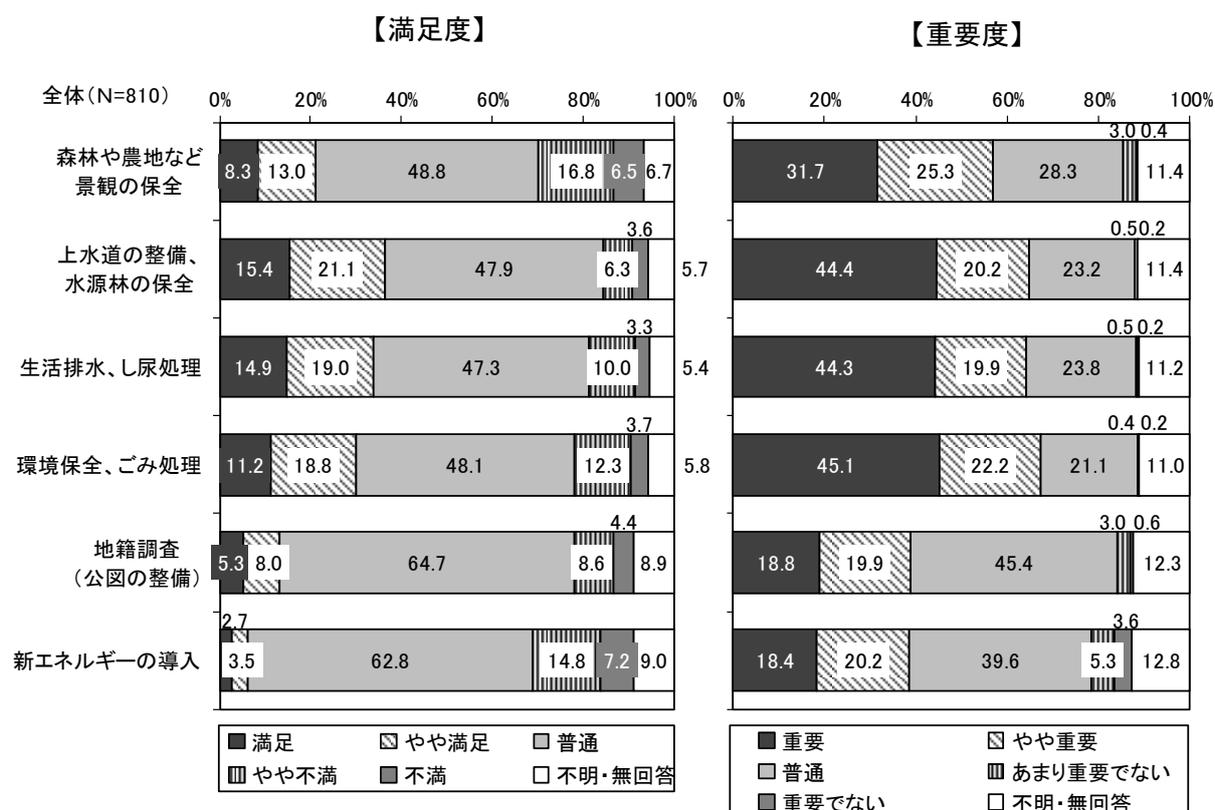
※回答結果を、重要度については「重要」を5点、「やや重要」を4点、「普通」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点、満足度については「満足」を5点、「やや満足」を4点、「普通」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点としてそれぞれ点数化し、その数値に回答者数を乗じて施策ごとの平均点を算出しています。

施策	満足度	重要度	施策	満足度	重要度
〈1〉 森林や農地など景観の 保全	2.80	3.51	〈18〉 介護予防、認知症予防	2.86	3.50
〈2〉 上水道の整備、水源林 の保全	3.21	3.74	〈19〉 報徳診療所の運営、地 域医療の維持	2.86	3.51
〈3〉 生活排水、し尿処理	3.16	3.74	〈20〉 学校教育の充実	2.83	3.52
〈4〉 環境保全、ごみ処理	3.04	3.79	〈21〉 公民館活動、町立図書 館の充実	2.82	3.08
〈5〉 地籍調査（公図の整備）	2.74	3.16	〈22〉 スポーツの振興	2.71	3.01
〈6〉 新エネルギーの導入	2.53	3.06	〈23〉 人権啓発、男女共同参 画社会の推進	2.71	2.96
〈7〉 農業振興、獣害対策	2.32	3.69	〈24〉 ユネスコエコパークの 普及、文化財の保護	2.73	3.03
〈8〉 林業振興	2.56	3.30	〈25〉 郷土教育、地域活動人 材の育成	2.68	3.14
〈9〉 水産業振興、河川環境 の保全	2.66	3.36	〈26〉 防災対策	2.86	3.69
〈10〉 地域資源の活用	2.59	3.38	〈27〉 消防、救急体制の確保	3.10	3.73
〈11〉 商工業支援・雇用促進	2.42	3.52	〈28〉 行政情報の充実、通信 網の整備	2.85	3.41
〈12〉 観光振興	2.51	3.38	〈29〉 地域公共交通の充実	2.54	3.59
〈13〉 地域間交流	2.68	3.09	〈30〉 交通安全対策、防犯体 制の整備	2.76	3.45
〈14〉 保育サービスなど児童 福祉の充実	3.01	3.50	〈31〉 道路網の維持整備	2.65	3.46
〈15〉 在宅支援など高齢者福 祉の充実	2.86	3.61	〈32〉 地域コミュニティの充実	2.75	3.22
〈16〉 障がい福祉の充実	2.81	3.48	〈33〉 子育て支援の充実	2.84	3.50
〈17〉 運動の推進など健康づ くり	2.96	3.26	〈34〉 行財政改革の推進	2.58	3.48

<美しい環境のまちづくり> (満足度・重要度)

美しい環境のまちづくりの満足度についてみると、『満足』（「満足」、「やや満足」の合計）では、「上水道の整備、水源林の保全」が36.5%と最も高く、次いで「生活排水、し尿処理」が33.9%となっています。また、『不満』（「不満」、「やや不満」の合計）では、「森林や農地など景観の保全」が23.3%と最も高く、次いで「新エネルギーの導入」が22.0%となっています。

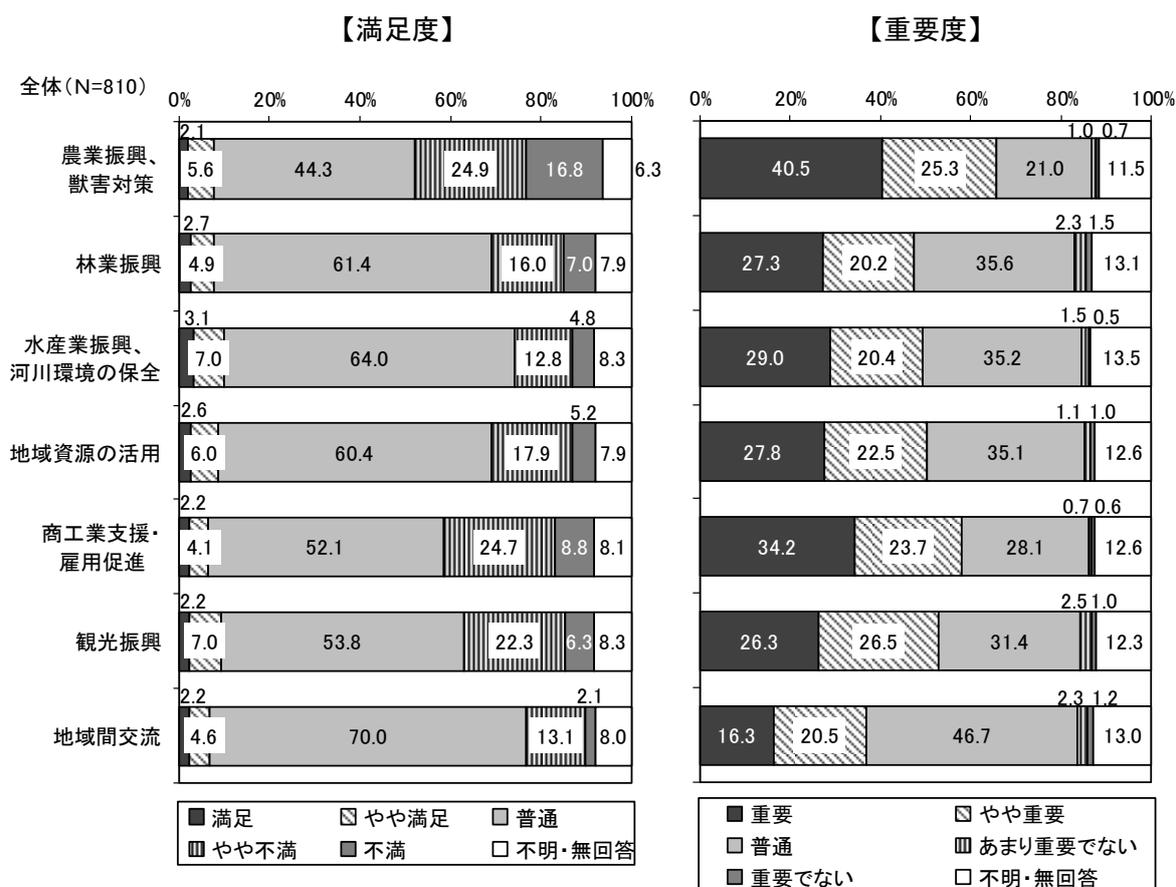
重要度についてみると、『重要』（「重要」、「やや重要」の合計）では、「環境保全、ごみ処理」が67.3%と最も高く、次いで「上水道の整備、水源林の保全」が64.6%となっています。また、『重要でない』（「重要でない」、「あまり重要でない」の合計）では、「新エネルギーの導入」が8.9%と最も高く、次いで「地籍調査」が3.6%となっています。



<産業振興と交流のまちづくり> (満足度・重要度)

産業振興と交流のまちづくりの満足度についてみると、『満足』（「満足」、「やや満足」の合計）では、「水産業振興、河川環境の保全」が10.1%と最も高く、次いで「観光振興」が9.2%となっています。また、『不満』（「不満」、「やや不満」の合計）では、「農業振興、獣害対策」が41.7%と最も高く、次いで「商工業支援・雇用促進」が33.5%となっています。

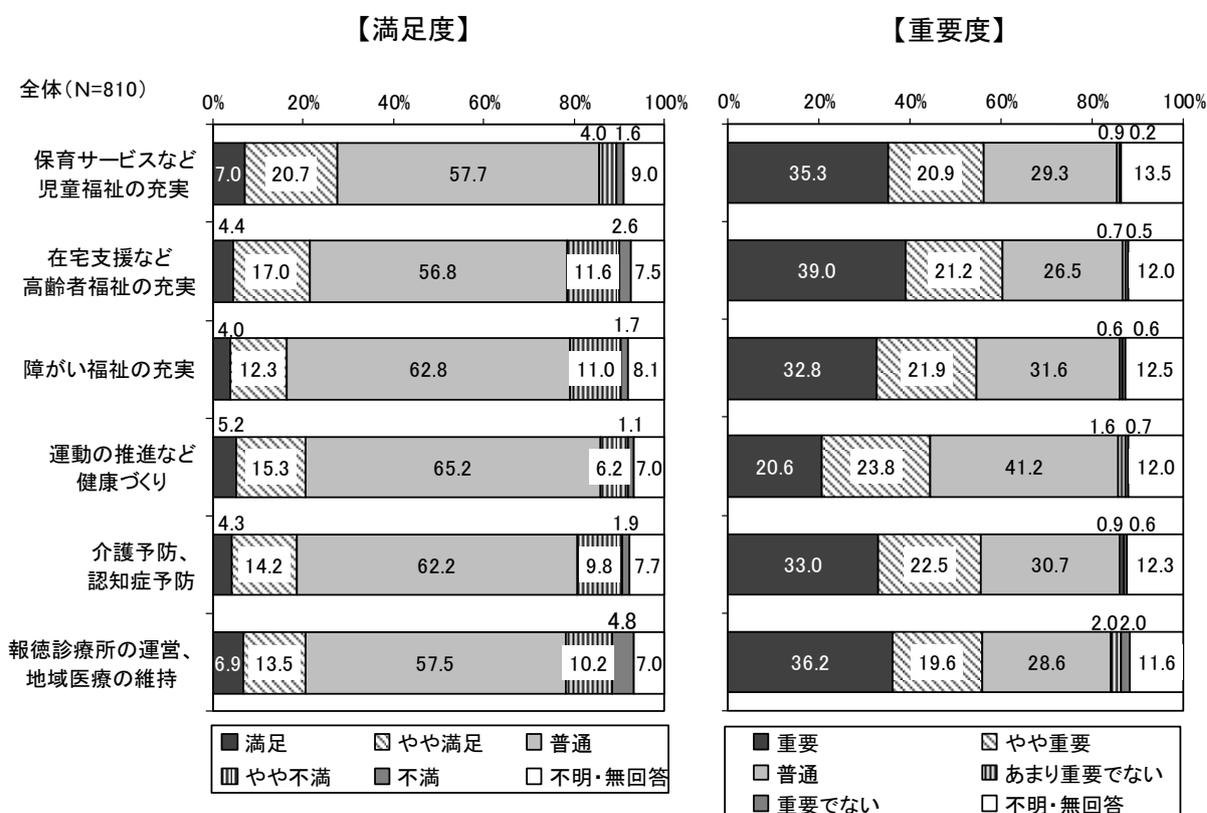
重要度についてみると、『重要』（「重要」、「やや重要」の合計）では、「農業振興、獣害対策」が65.8%と最も高く、次いで「商工業支援・雇用促進」が57.9%となっています。また、『重要でない』（「重要でない」、「あまり重要でない」の合計）では、「林業振興」が3.8%と最も高く、次いで「観光振興」、「地域間交流」が3.5%となっています。



<いきいき健康・福祉のまちづくり> (満足度・重要度)

いきいき健康・福祉のまちづくりの満足度についてみると、『満足』（「満足」、「やや満足」の合計）では、「保育サービスなど児童福祉の充実」が27.7%と最も高く、次いで「在宅支援など高齢者福祉の充実」が21.4%となっています。また、『不満』（「不満」、「やや不満」の合計）では、「報徳診療所の運営、地域医療の維持」が15.0%と最も高く、次いで「在宅支援など高齢者福祉の充実」が14.2%となっています。

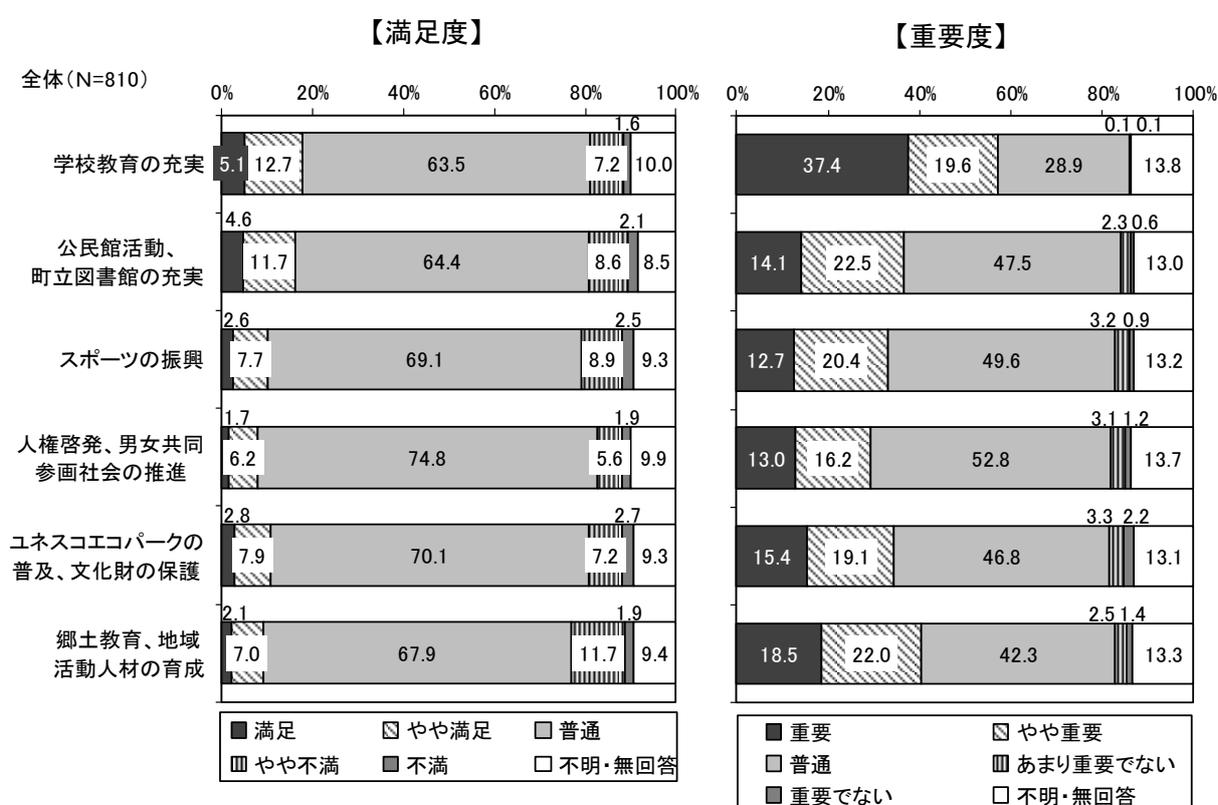
重要度についてみると、『重要』（「重要」、「やや重要」の合計）では、「在宅支援など高齢者福祉の充実」が60.2%と最も高く、次いで「保育サービスなど児童福祉の充実」が56.2%となっています。また、『重要でない』（「重要でない」、「あまり重要でない」の合計）では、「報徳診療所の運営、地域医療の維持」が4.0%と最も高く、次いで「運動の推進など健康づくり」が2.3%となっています。



<教育・文化振興のまちづくり> (満足度・重要度)

教育・文化振興のまちづくりの満足度についてみると、『満足』（「満足」、「やや満足」の合計）では、「学校教育の充実」が17.8%と最も高く、次いで「公民館活動、町立図書館の充実」が16.3%となっています。また、『不満』（「不満」、「やや不満」の合計）では、「郷土教育、地域活動人材の育成」が13.6%と最も高く、次いで「スポーツの振興」が11.4%となっています。

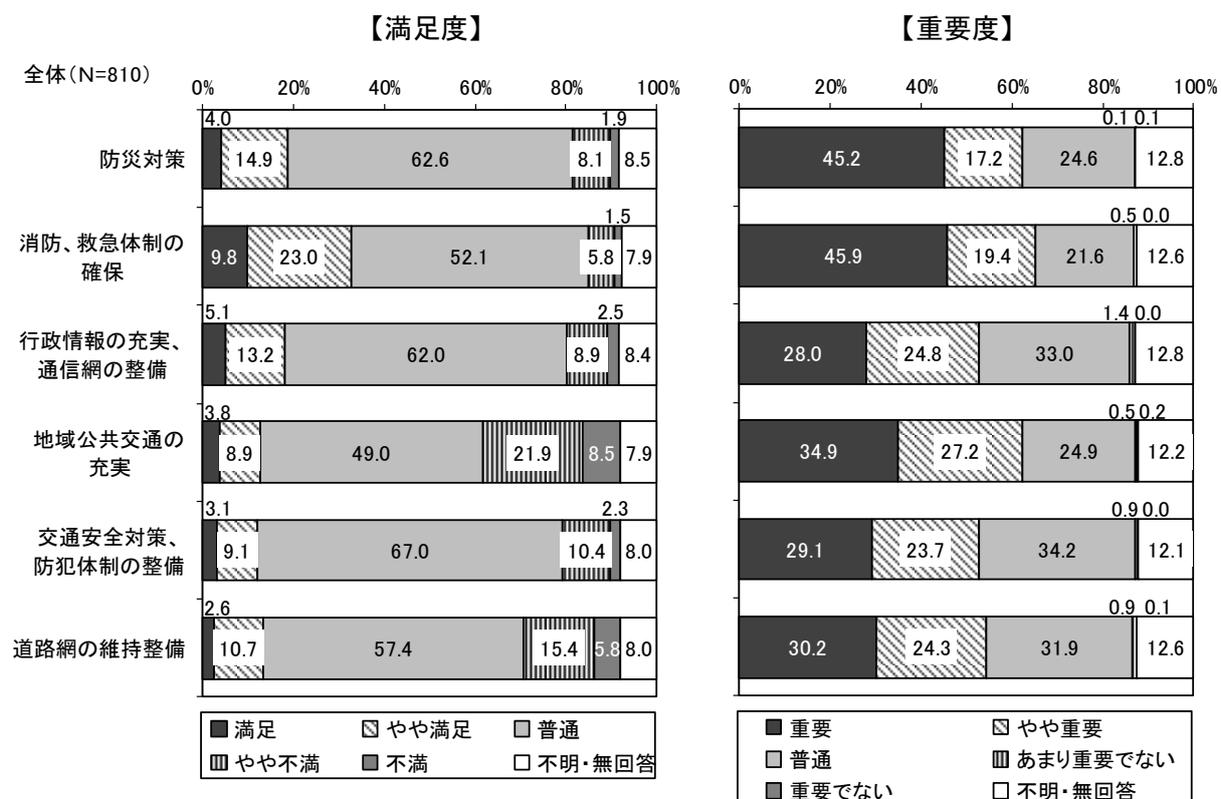
重要度についてみると、『重要』（「重要」、「やや重要」の合計）では、「学校教育の充実」が57.0%と最も高く、次いで「郷土教育、地域活動人材の育成」が40.5%となっています。また、『重要でない』（「重要でない」、「あまり重要でない」の合計）では、「ユネスコエコパークの普及、文化財の保護」が5.5%と最も高く、次いで「人権啓発、男女共同参画社会の推進」が4.3%となっています。



<安全・安心のまちづくり> (満足度・重要度)

安全・安心のまちづくりの満足度についてみると、『満足』（「満足」、「やや満足」の合計）では、「消防、救急体制の確保」が32.8%と最も高く、次いで「防災対策」が18.9%となっています。また、『不満』（「不満」、「やや不満」の合計）では、「地域公共交通の充実」が30.4%と最も高く、次いで「道路網の維持整備」が21.2%となっています。

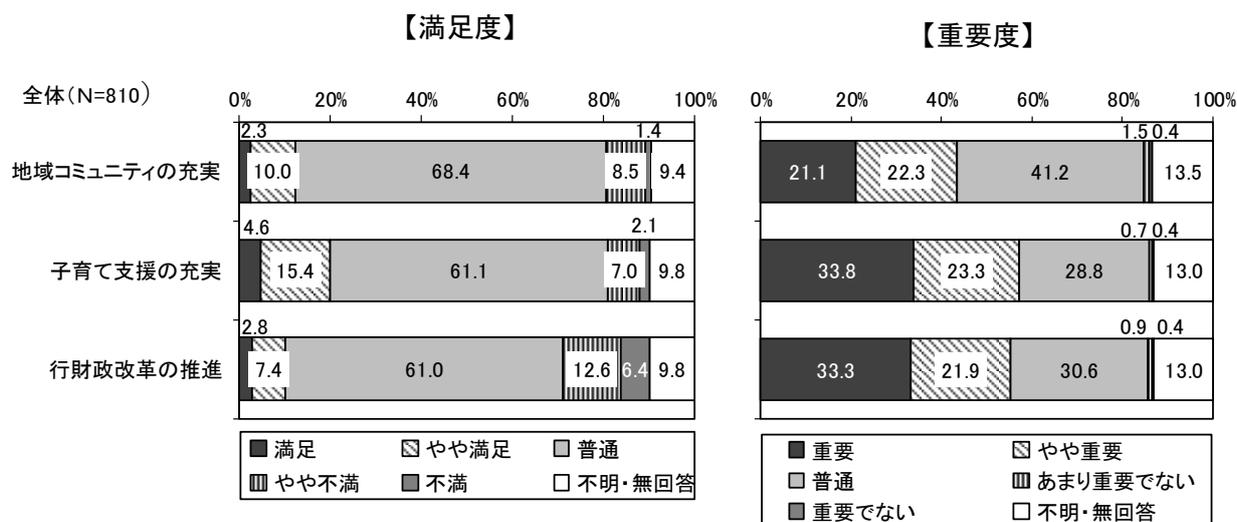
重要度についてみると、『重要』（「重要」、「やや重要」の合計）では、「消防、救急体制の確保」が65.3%と最も高く、次いで「防災対策」が62.4%となっています。また、『重要でない』（「重要でない」、「あまり重要でない」の合計）では、「行政情報の充実、通信網の整備」が1.4%と最も高く、次いで「道路網の維持整備」が1.0%となっています。



<未来へ引き継ぐまちづくり> (満足度・重要度)

未来へ引き継ぐまちづくりの満足度についてみると、『満足』（「満足」、「やや満足」の合計）では、「子育て支援の充実」が20.0%と最も高く、次いで「地域コミュニティの充実」が12.3%となっています。また、『不満』（「不満」、「やや不満」の合計）では、「行財政改革の推進」が19.0%と最も高く、次いで「地域コミュニティの充実」が9.9%となっています。

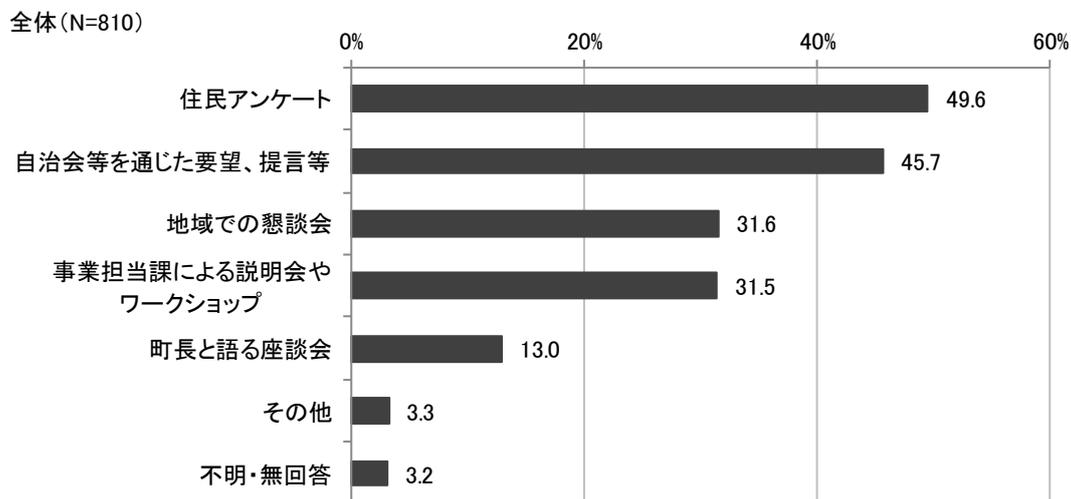
重要度についてみると、『重要』（「重要」、「やや重要」の合計）では、「子育て支援の充実」が57.1%と最も高く、次いで「行財政改革の推進」が55.2%となっています。また、『重要でない』（「重要でない」、「あまり重要でない」の合計）では、「地域コミュニティの充実」が1.9%と最も高く、次いで「行財政改革の推進」が1.3%となっています。



3. これからのまちづくりについて

問 19 町行政に住民の意見を反映させるために必要なこと（2つまで複数）

町行政に住民の意見を反映させるために必要だと思うものについてみると、「住民アンケート」が49.6%と最も高く、次いで「自治会等を通じた要望、提言等」が45.7%となっています。



その他を選択した方の回答内容

内容	件数
民意の汲取り	10
行政・公務員について	7
選挙	1
企業との懇談会。大台町とタイアップ	1
町民自身が町づくりに参加しているという自覚。町民意識	1
なし	1

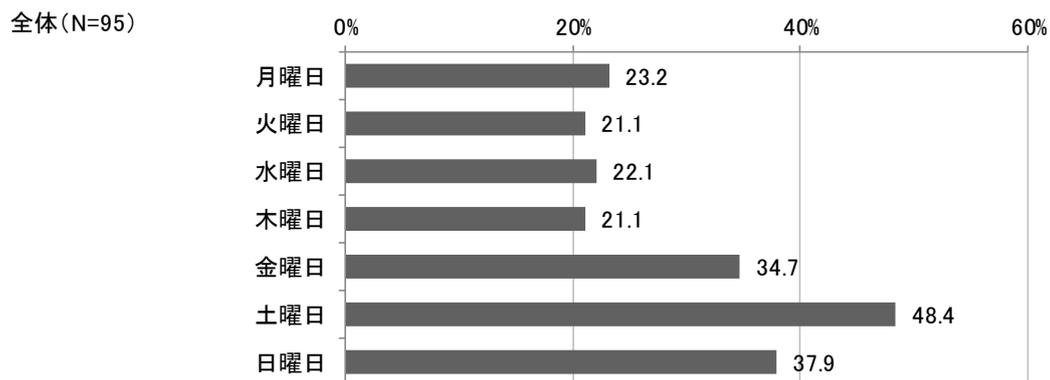
20歳から49歳の方

問20 若い世代からの意見を吸い上げる効果的な仕組み

話し合いをする場合、最適な曜日についてみると、「土曜日」が48.4%と最も高く、次いで「日曜日」が37.9%となっています。

話し合いをする場合、最適な時間帯についてみると、「18～19時」が42.9%と最も高く、次いで「8～9時」、「12～13時」が16.7%となっています。

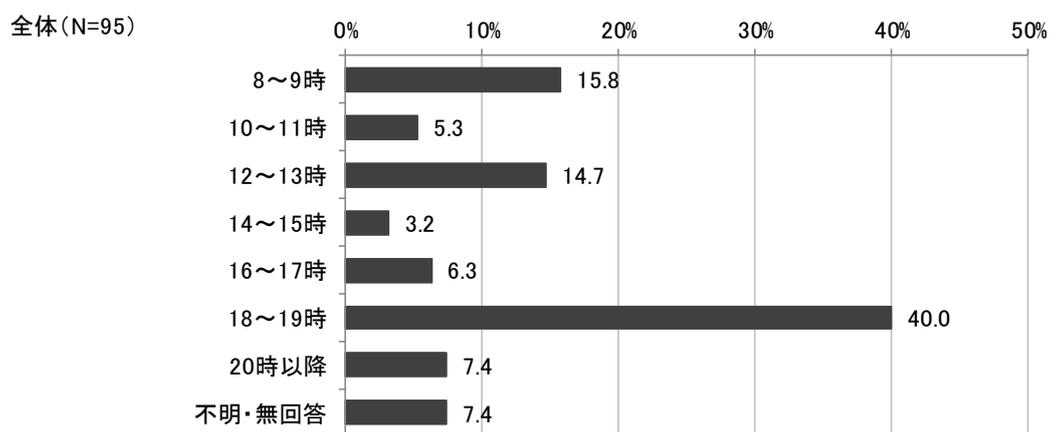
最適な曜日



※「不明・無回答」を除いて算出しています。

いずれかの曜日を答えた方

最適な時間帯

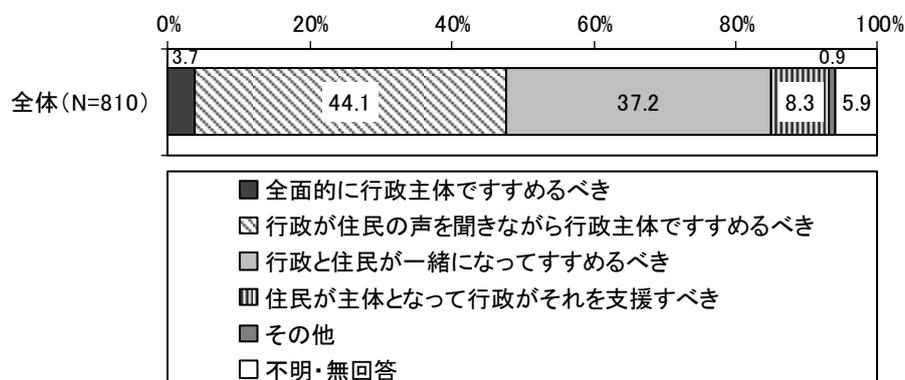


効果的な方法

内容	件数
アンケートの実施	39
意見交換の場（座談会、ワークショップ、会議等）	37
インターネットの利用（SNSの活用等）	10
世代交代	3
分からない、回答できない	2
その他	25
<ul style="list-style-type: none"> ・学校等の行事を利用 ・意見を言える専門の部署を作り、気軽に役場へいけるようにする など 	

問 21 まちづくりをすすめるうえでの、住民と行政の役割分担についての考え（単数）

まちづくりをすすめるうえでの、住民と行政の役割分担についての考えについてみると、「行政が住民の声を聞きながら行政主体ですすめるべき」が 44.1%と最も高く、次いで「行政と住民が一緒になってすすめるべき」が 37.2%となっています。

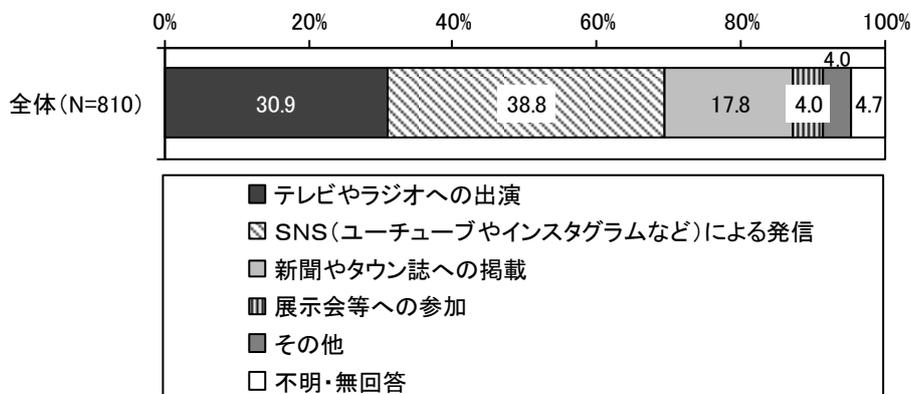


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
わからない	3
行政主導であるべき	1
住民が立案し、それに対して行政が予算組みすべき	1

問 22 大台町の魅力を町外に発信するために最も効果的な手段（単数）

大台町の魅力を町外に発信するために最も効果的な手段についてみると、「SNSによる発信」が38.8%と最も高く、次いで「テレビやラジオへの出演」が30.9%となっています。



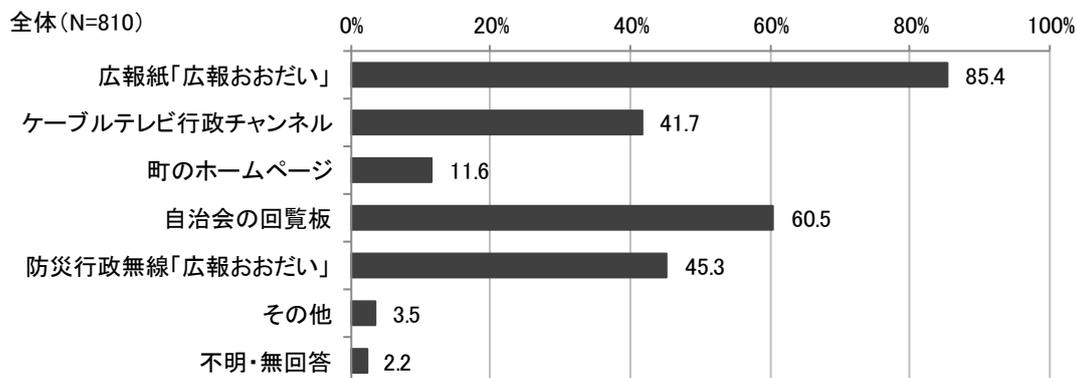
その他を選択した方の回答内容

内容	件数
イベント	3
発信しなくてよい	3
魅力がない	3
発信する方向性について	3
広告	2
ホームページ	1
直接の会話	1
特に公共施設(ホテル含む)に勤務する者の挨拶のなさやサービス精神の不足、目の前の人々が外部からどれだけの人達を連れてきてくれるか光を見る事。人が人を呼ぶ経済につながると思う	1
住民の満足度を上げることが大台町の魅力になると思います	1
専門部・専門分野等でのアピール	1
1～4、誰が発信するかが大切。町が発信するのではなく住んでいる人、来た人が発信できる仕組み	1
どれが一番なのか分からないすべて効果あると思う	1
積極的な行政施行	1
大台町民がまず最初に魅力ある町だと思う事	1
自慢できるものを作る	1

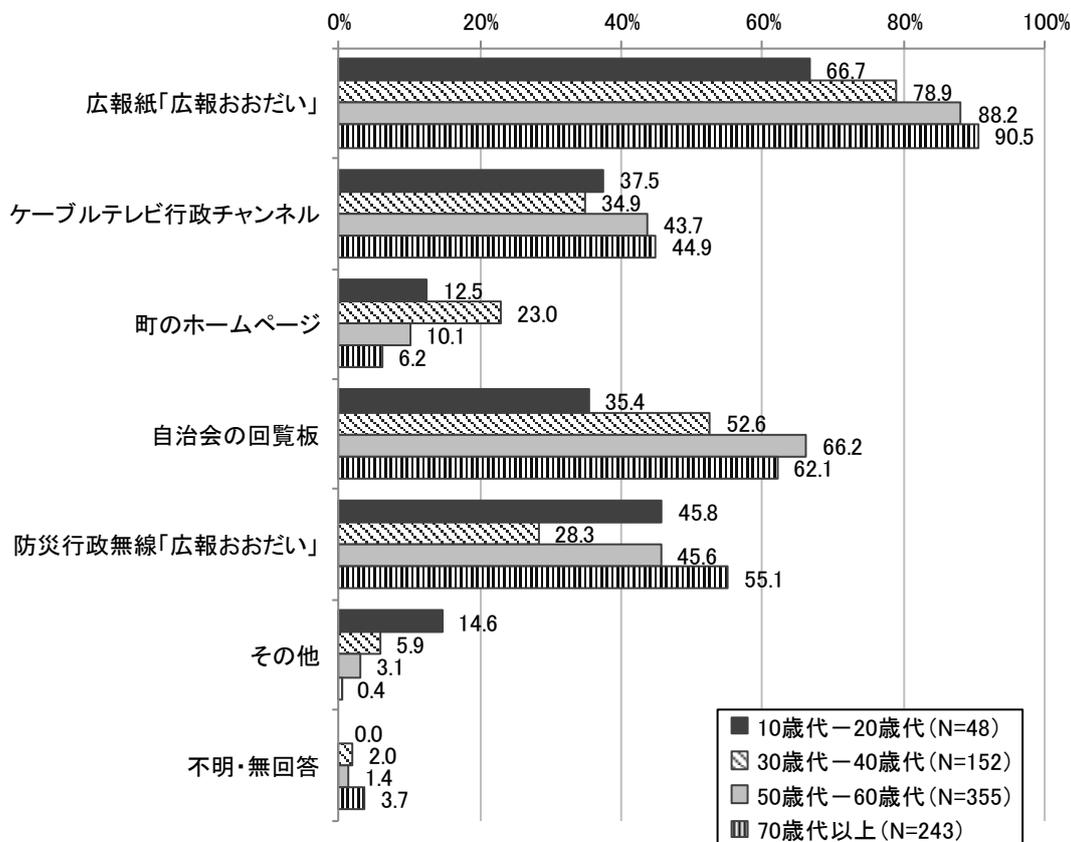
問 23 町の情報を得る手段（3つまで複数）

町の情報を得る手段についてみると、「広報紙『広報おおだい』」が 85.4%と最も高く、次いで「自治会の回覧板」が 60.5%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「広報紙『広報おおだい』」が最も高く、次いで 10—20 歳代は「防災行政無線『広報おおだい』」、その他の年代では「自治会の回覧板」が高くなっています。



問 23 町の情報を得る手段 × 年齢

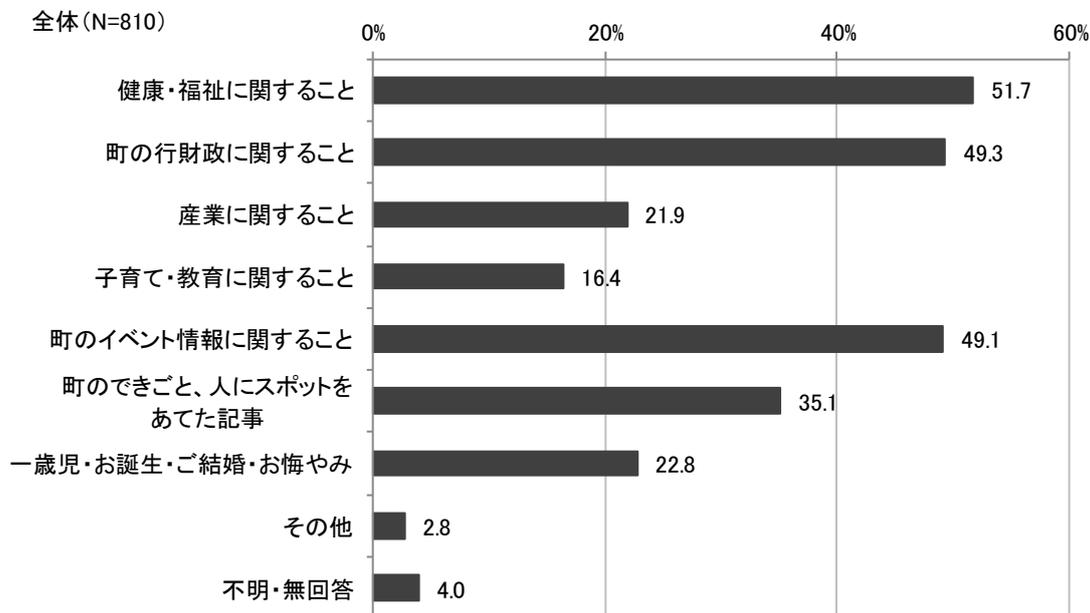


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
知人・友人・住民	9
SNS	3
情報を得ていない	3
家族	2
教育施設	2
議員が報告してくれる会報	1
改善点→ケーブルテレビの文字放送の時に文字だけでなく音声も流して欲しい。視覚障害者のためにもお願いしたい。大紀町ケーブルテレビを参考にして欲しい。とても聞きやすい	1

問 24 広報紙「広報おおだい」を通して特に知りたい情報（3つまで複数）

広報紙「広報おおだい」を通して特に知りたい情報は何かについてみると、「健康・福祉に関すること」が51.7%と最も高く、次いで「町の行財政に関すること」が49.3%となっています。

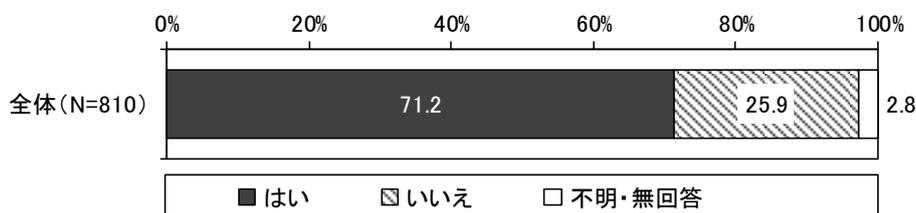


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
町政について	4
町のこと・ひと	3
特にない	2
見ていない	1
広報おおだいが届いてない	1
すべて	1
うちにも送って欲しい	1
過食嘔吐症の様なあまり身近にない病気で悩んでいる者はどう対処するか本人はどうするか、どうなるか詳しく本人に知らせたい	1
災害などについて	1

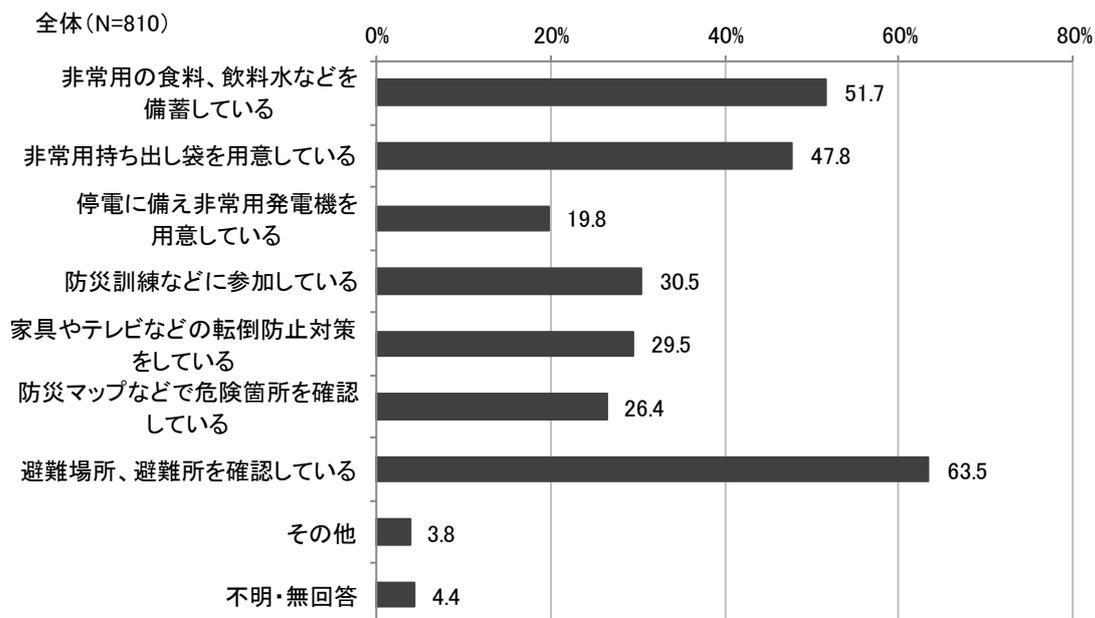
問 25 大台町行政カレンダーを利用しているか（単数）

大台町行政カレンダーを利用しているかについてみると、「はい」が71.2%、「いいえ」が25.9%となっています。



問 26 災害への対策として行っていること（複数）

災害への対策として行っていることについてみると、「避難場所、避難所を確認している」が63.5%と最も高く、次いで「非常用の食料、飲料水などを備蓄している」が51.7%となっています。

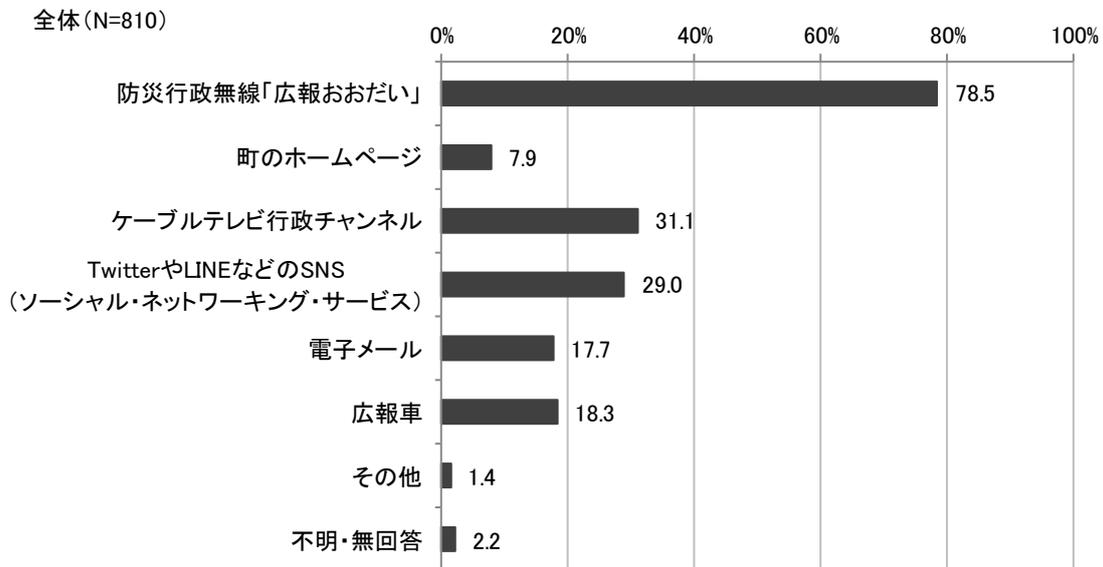


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
していない	11
防災グッズや必要な日用品の用意	8
避難経路・場所を分かっている	2
テント・災害伝言ダイヤル設定、衣類など	1
他の市町では毎年防災訓練しているが、大台町は全然しないが予定はないのか	1
避難場所に指定している所がはたして安全な所か検討してほしい。非常時にヘリポートを確保してほしい(陸の孤島とならない様)	1

問 27 町内で地震が起こった時や、大台町に台風が接近している時、それらに関する情報を得る
 便利な手段（2つまで複数）

町内で地震が起こった時や、大台町に台風が接近している時、それらに関する情報を得る便利な手段についてみると、「防災行政無線『広報おおだい』」が78.5%と最も高く、次いで「ケーブルテレビ行政チャンネル」が31.1%となっています。

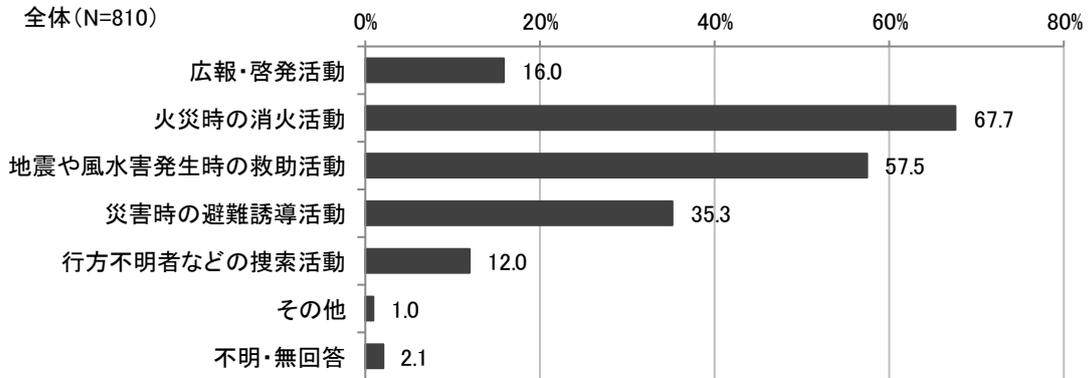


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
インターネット	2
スマホ・携帯電話	2
テレビ	2
ラジオ	2
地震や台風の情報は気象庁の防災みえ等でよい	1
子ども達からの情報	1

問 28 消防団の活動について重要なこと（2つまで複数）

消防団の活動について重要なことについてみると、「火災時の消火活動」が67.7%と最も高く、次いで「地震や風水害発生時の救助活動」が57.5%となっています。

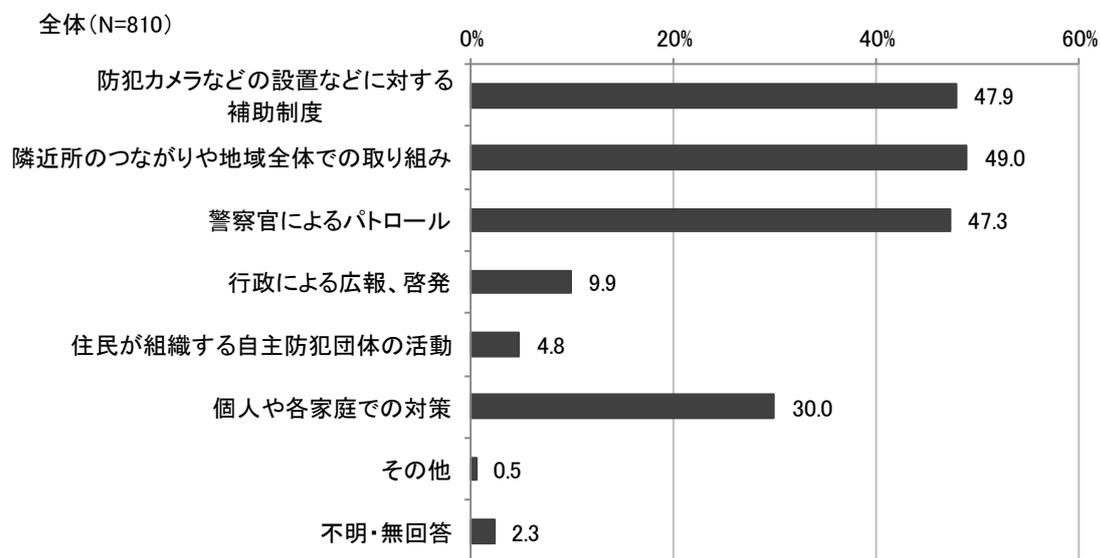


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
経験豊富な高齢者を利用した制度	2
情報伝達	1
訓練	1
火災になっても仕事に行き出られない消防団なんかいない。消防署、何のため？	1
何かの時には頑張っていてほしいと思う	1
救急車が来るのが遅い。新田まで50分かかった時があった	1

問 29 防犯対策として重要なこと（2つまで複数）

防犯対策として重要なことについてみると、「隣近所のつながりや地域全体での取り組み」が49.0%と最も高く、次いで「防犯カメラなどの設置などに対する補助制度」が47.9%となっています。



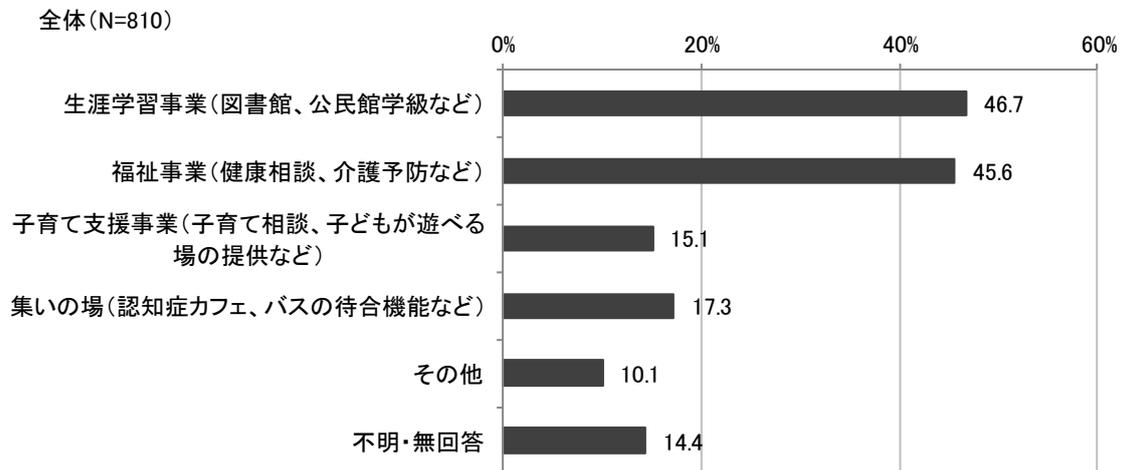
その他を選択した方の回答内容

内容	件数
防犯設備	2
被害情報の広報	1

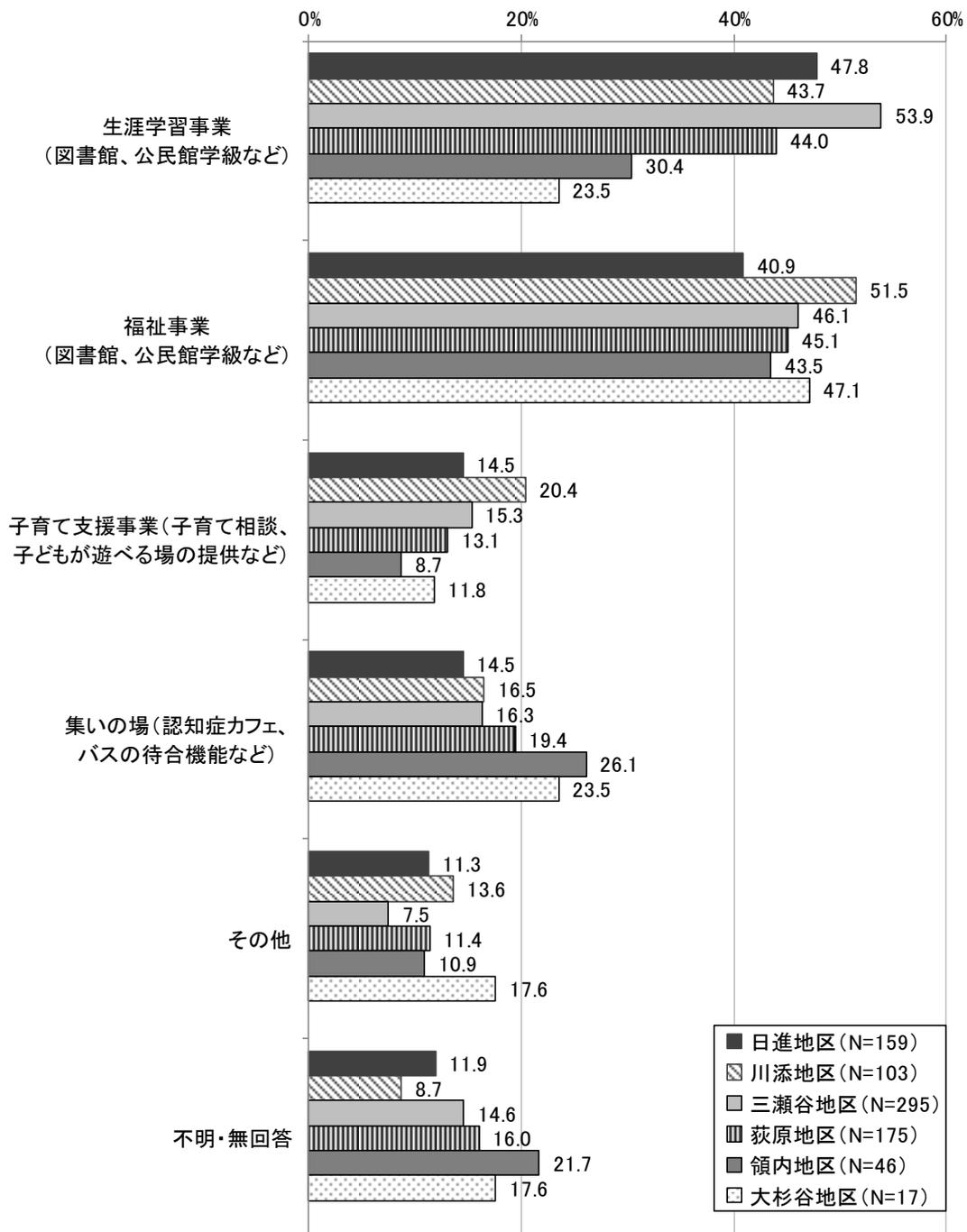
問 30 町が運営する施設や事業の中でよく利用するもの、利用したいもの（2つまで複数）

町が運営する施設や事業の中でよく利用するもの、利用したいものについてみると、「生涯学習事業」が46.7%と最も高く、次いで「福祉事業」が45.6%となっています。

地区別にみると、日進地区と三瀬谷地区では「生涯学習事業」、その他の地区では「福祉事業」がそれぞれ高くなっています。



問 30 町が運営する施設や事業の中でよく利用するもの、利用したいもの × 地区

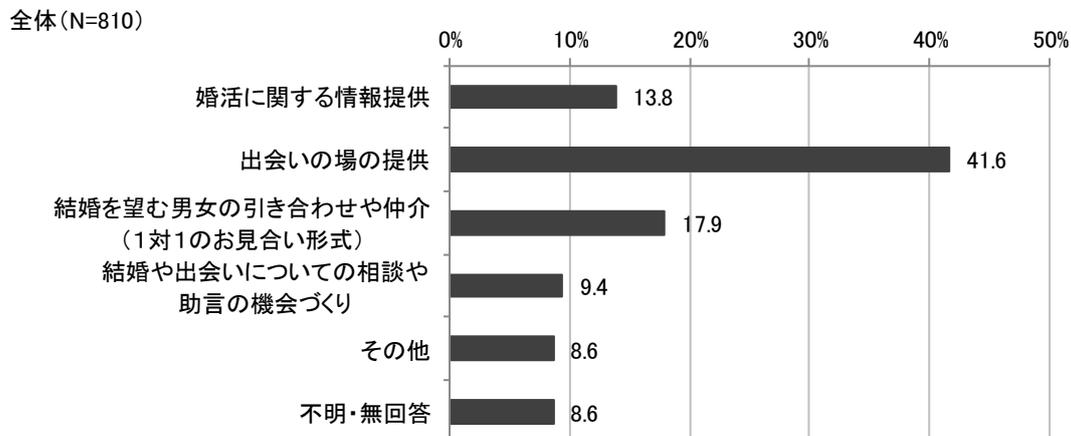


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
ない	16
スポーツ施設	6
公園・グラウンド	5
道の駅	2
有名人のイベント	1
文化協会への支援が不足	1
年齢的にも利用する場所が異なるので、その時々により町内施設を利用している	1
文化・演芸事業。音楽、演劇、映画…	1
各地区での活動	1
奥伊勢湖	1
川添方面にもバスを運行して欲しい	1
公民館での書類の申請	1

問 31 未婚率上昇を抑制するため、結婚する方を増やすために重要なこと（単数）

結婚する方を増やすために重要なことについてみると、「出会いの場の提供」が41.6%と最も高く、次いで「結婚を望む男女の引き合わせや仲介」が17.9%となっています。

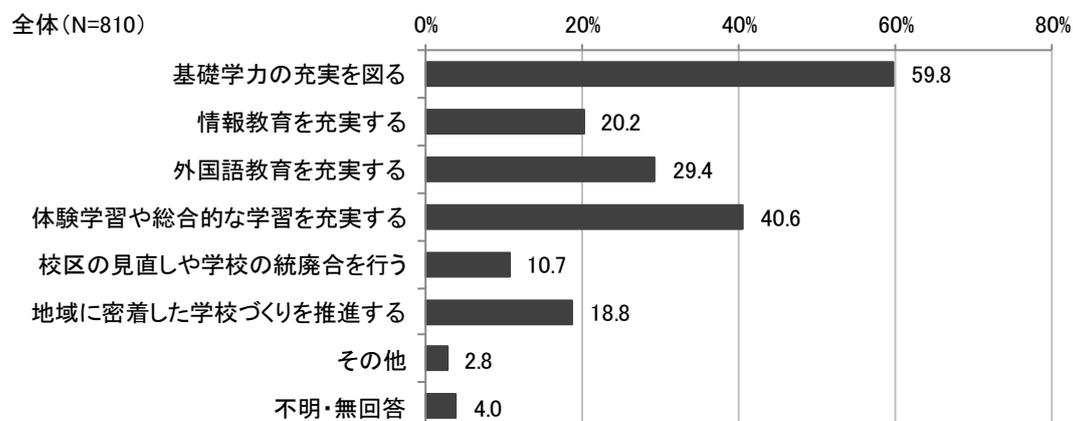


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
雇用・経済的安定	17
個人的問題である	17
町の活性化	3
親及び周囲の人の応援。なお、反対の言葉に注意すること	2
周囲の支援・応援	1
補助金	1
個人の考え方	1
親からの自立。自分の将来を考えた夢・希望	1
男女の出会いは分からない	1
男性が頼りないと言えばそれまでですが、女性が男性を高い評価で選ぶとする以上無理な気がする。基本が崩れていると思う	1
男性の意識改革	1
特に課題と思わない	1
魅力的な職場	1
無理に結婚しなくていい	1

問 32 子どもたちの教育について重要な取り組み（2つまで複数）

子どもたちの教育について重要な取り組みについてみると、「基礎学力の充実を図る」が59.8%と最も高く、次いで「体験学習や総合的な学習を充実する」が40.6%となっています。

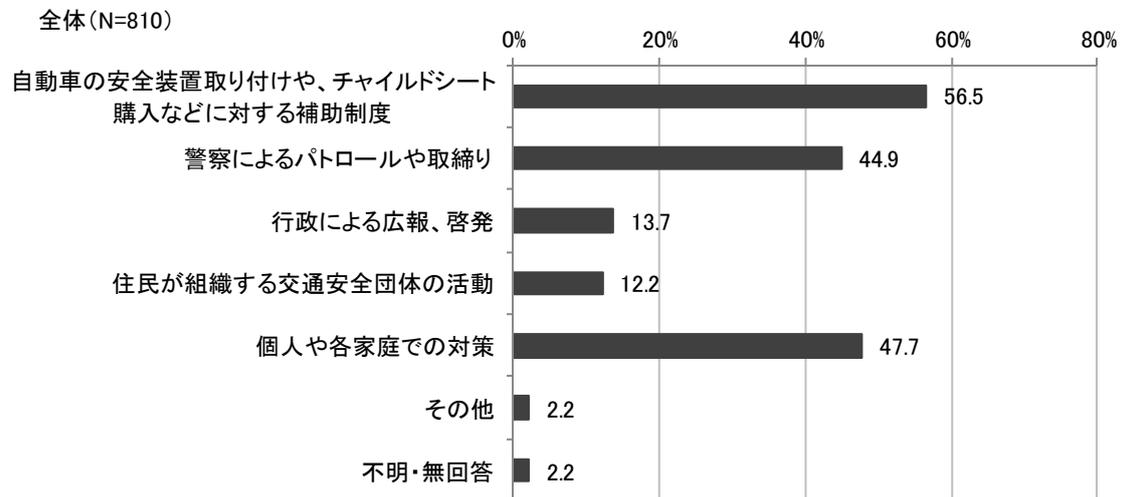


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
道徳以外の教育	6
道徳教育	3
世界を広く	2
教師に関する取り組み	2
地域・行政による支援	1
あまり分からない	1
自然と接して心の教育と言いたいが、充実したすべてを皆が求めなければいけないので子供は可哀相	1
今現在どれだけ進んでいるか分からない	1
様々な選択肢を与える	1

問 33 交通安全対策として重要なこと（2つまで複数）

交通安全対策として重要なことについてみると、「自動車の安全装置取り付けや、チャイルドシート購入などに対する補助制度」が56.5%と最も高く、次いで「個人や各家庭での対策」が47.7%となっています。

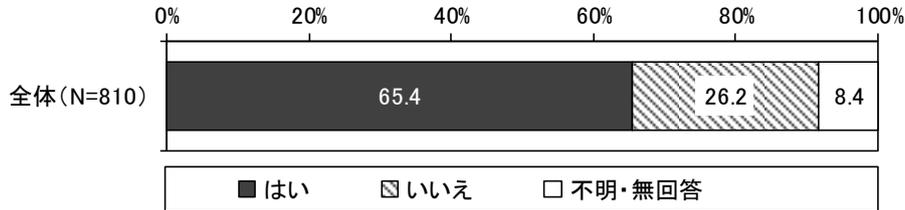


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
個人の注意・意識	3
高齢者に関する取組	3
道路整備	3
こども・若者への指導	2
啓発	1
防犯カメラ	1
運転者の「マナー」の指導徹底(あおり・方向指示器等)	1

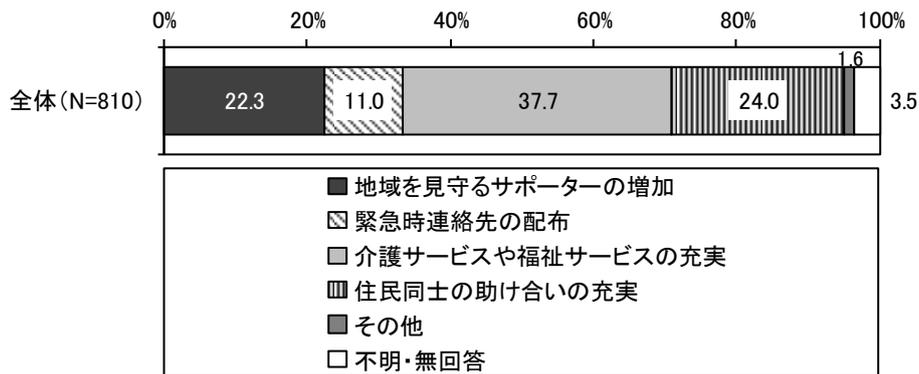
問 34 高齢者見守り体制に満足しているか（単数）

高齢者見守り体制に満足しているかについてみると、「はい」が65.4%、「いいえ」が26.2%となっています。



問 35 地域住民が適切かつ迅速に支援ができる、また支援を受けられるようにするために重要なこと（単数）

地域住民が適切かつ迅速に支援ができる、また支援を受けられるようにするために重要なことについてみると、「介護サービスや福祉サービスの充実」が37.7%と最も高く、次いで「住民同士の助け合いの充実」が24.0%となっています。

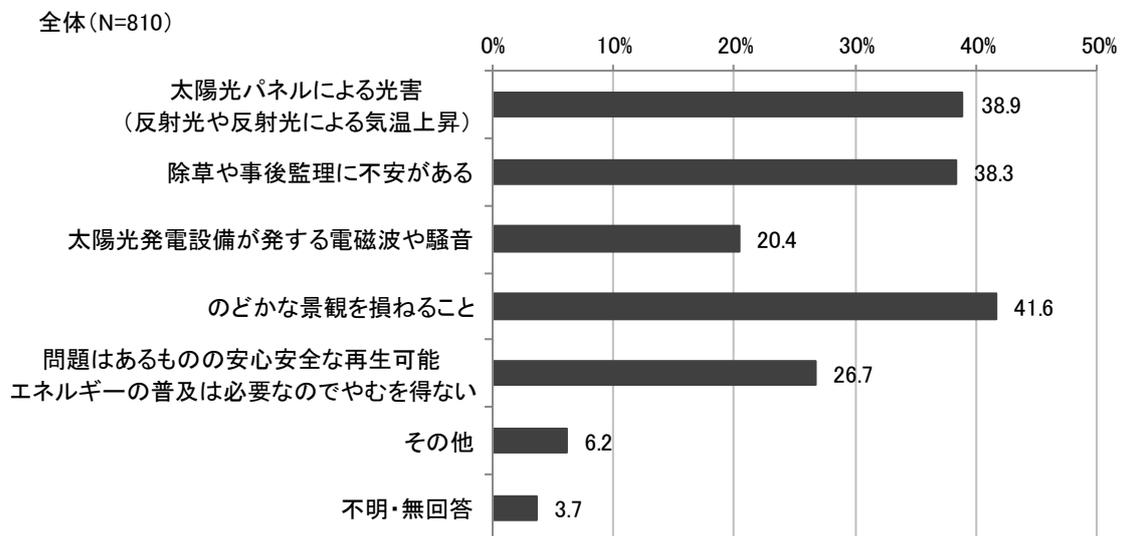


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
わからない	3
支援に関する情報を分かりやすく開示する	2
コミュニティ作り	1
今のままだでも良いのでは。独居の人、家人が離れている人、子どもの関り必要	1
区長や民生委員の権力を高めると共に、責任を与え報酬も増やし本気で取り組む	1
対応する役場の課の担当の方の対応	1
近くで働ける状況でない	1
夫婦の家庭には人に言えない事情がある。周りで非難するのではなく優しくこえかけや、いたわりの気持ちを持って接していきたい	1

問 36 再生可能エネルギーの利活用において、太陽光発電施設で最も問題だと思うこと
(2つまで複数)

再生可能エネルギーの利活用において、太陽光発電施設で最も問題だと思うことについてみると、「のどかな景観を損ねること」が41.6%と最も高く、次いで「太陽光パネルによる光害」が38.9%となっています。

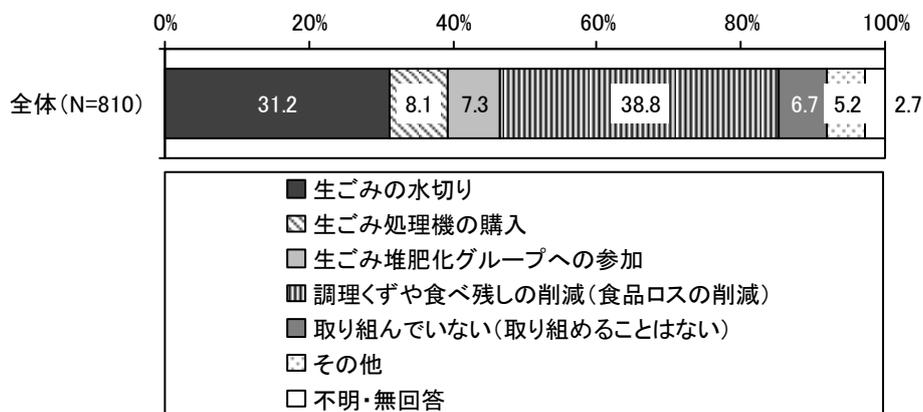


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
処分	21
自然破壊	4
費用	3
農地減少	2
パネルによる被害	1
地価下降	1
維持・管理	1
わからない	1
矛盾していますが、設置者は確実な発電の実行。各世帯では拡大・増設に対する電気代増	1
問題でない	1
家の周りはこちら3~4年で太陽光パネルだらけになった。大台町の自然環境が好きで越してきたが、とても残念である。悲しい	1
悪徳業者にだまされていないか	1
屋根まででとどめるべきだった	1
無責任感や、今の事しか考えない感覚の助長、美意識	1
再生エネルギーを推進すべき	1
晴れの日しか発電出来ない事	1
無制限に設置を認めてきた行政が悪い。もっと規制をすべきであった	1

問 37 生ごみを減量するために取り組んでいること、または取り組めると思うこと（単数）

生ごみを減量するために取り組んでいること、または取り組めると思うことについてみると、「調理くずや食べ残しの削減」が38.8%と最も高く、次いで「生ごみの水切り」が31.2%となっています。

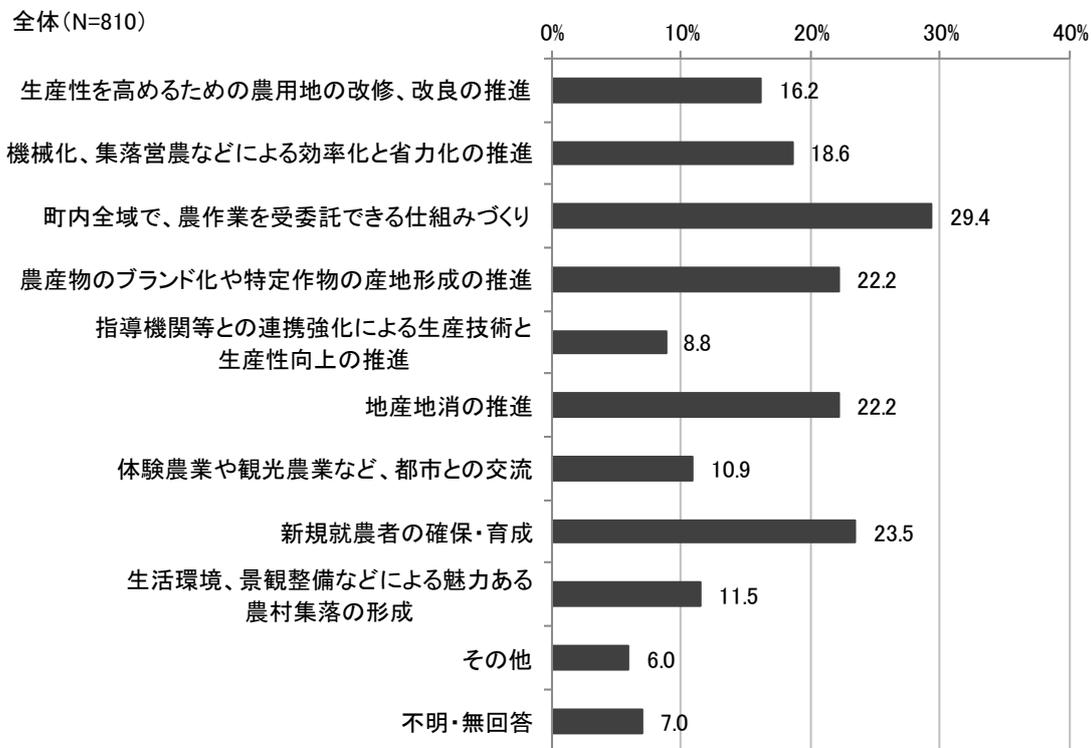


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
コンポスト・堆肥化	30
乾かす	1
やり方がわからない	1
決められた事を守って出せばいいと思う。処理機などまで買う余裕もなかったら言われた様にしていれば間違いないと思う	1
断食	1
個人でしている	1

問 38 農業振興をすすめるうえで重要なこと（2つまで複数）

農業振興をすすめるうえで重要なことについてみると、「町内全域で、農作業を受委託できる仕組みづくり」が29.4%と最も高く、次いで「新規就農者の確保・育成」が23.5%となっています。

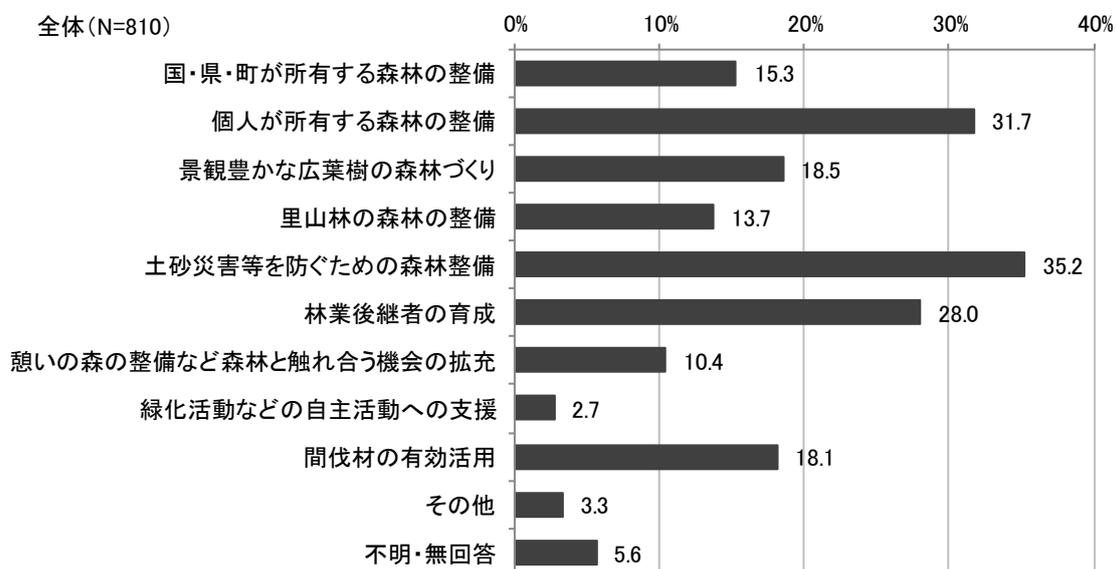


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
獣害対策	8
農地に関すること	6
後継者の育成	5
新たな農作物の栽培	4
販売に関すること	4
わからない	3
行政の補助	2
収益	2
機械化でお金がかかりすぎ	1
自然栽培の普及(福井県羽咋市の取り組み例)	1
農家の意識改革	1
産物の買い手をみつける	1
農業なし	1
法改正	1

問 39 林業振興をすすめるうえで重要なこと（2つまで複数）

林業振興をすすめるうえで重要なことについてみると、「土砂災害等を防ぐための森林整備」が35.2%と最も高く、次いで「個人が所有する森林の整備」が31.7%となっています。



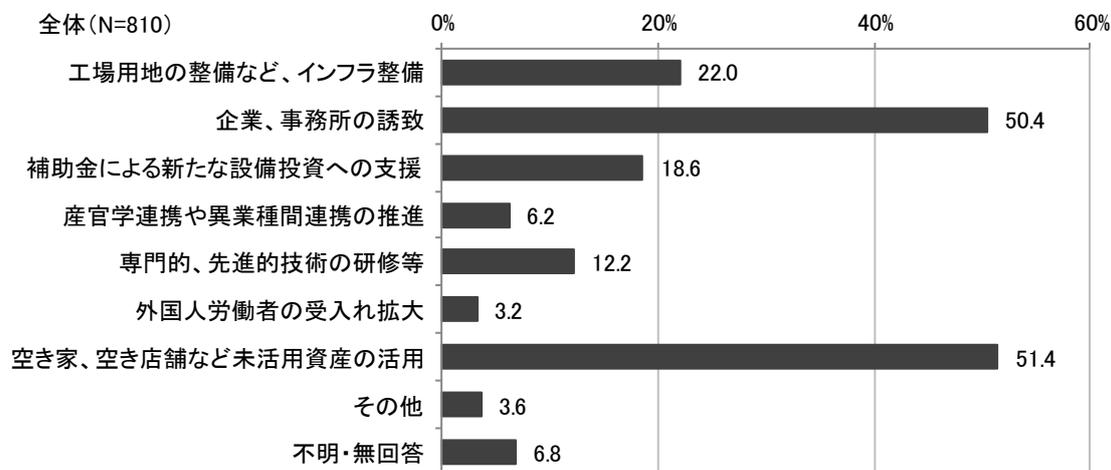
その他を選択した方の回答内容

内容	件数
収益	3
わからない	3
木材の有効な活用	2
木材の価格上昇	1
木に関する教育	1
放置林の自由売買	1
植えた個人の責任で処置すべき(強制)。金の良い時に植えて、悪くなればほっておくことはおかしい	1
森林整備の必要性を根気よく話すこと	1
少なくない林業は町が買い上げる	1
道路などに出ている枝木の整備	1
植林の山を広葉樹林へ	1
国策	1
山道の整備(木はあっても出せず、価値がなくなっている)	1
広葉樹も大切である。人家から離れたところでも杉木会の大工作りの森林を施業することである	1
民家近くにある木などが倒れそうでも気にもかけてくれないので、台風でもくれば分かるかところが気を遣っている個所もある事を分かって欲しい	1
進める必要はない。お金のムダ使いである	1

内容	件数
キャンプ場化	1
海外への販路開拓	1
山林従事で生活ができないため、山に興味がない持ち主が多い。自分の所有山林がどんな状況か分からない人も多い	1

問 40 商工業振興をすすめるうえで重要なこと（2つまで複数）

商工業振興をすすめるうえで重要なことについてみると、「空き家、空き店舗など未活用資産の活用」が51.4%と最も高く、次いで「企業、事務所の誘致」が50.4%となっています。

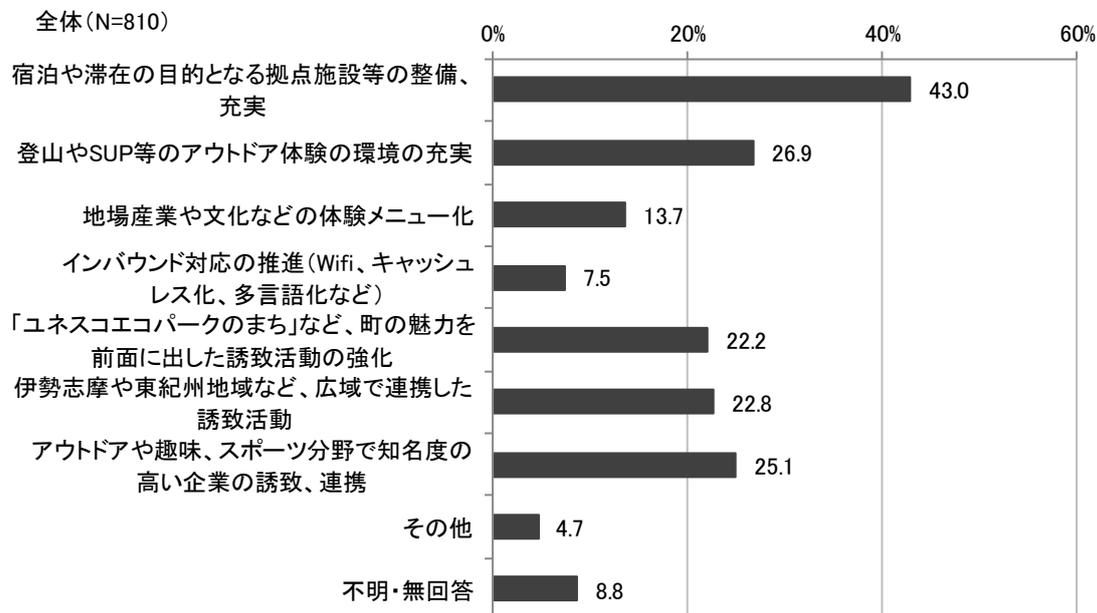


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
わからない	4
企業・個人事業への支援	3
ブランディング	2
インターネット環境の整備	1
企業の誘致	1
専門学校の誘致	1
個人の欲・夢	1
創造力	1
高齢化の進む中、領内・大杉に焦点の無いのがとても不安。大きな事を考えるより住民がこの町で住み続けたいという願いを達成できる施策を考えて欲しい	1
行政における立案・推進・広報・実行	1
水の確保を充実しないと会社・工場の誘致は困難	1
町の産業体形を変え、町の生きる道を真剣に考えるべきだ	1
例えば他県や他の場所で、商工業振興が成功している場所への視察や、その学びを本気でいかそうと動ける人材	1

問 41 大台町が観光振興を図るために重要または効果的だと思うこと（2つまで複数）

観光振興を図るために重要または効果的だと思うことについてみると、「宿泊や滞在の目的となる拠点施設等の整備、充実」が43.0%と最も高く、次いで「登山やSUP等のアウトドア体験の環境の充実」が26.9%となっています。



その他を選択した方の回答内容

内容	件数
既存の施設などの改善	9
飲食店	4
情報発信（SNS、HP）	3
施設などの新設	2
インフラ	2
観光客への対応	2
振興を図る必要はない。ムダな努力です	2
行政の参画	1
わからない	1
魅力あるコンテンツ作り	1
町の枠だけにとらわれない。民間との連携。他の自治体との連携	1
大台ヶ原を地点として、大台町の礎を築くべき	1
受け入れる時は、町ではそれに対する財源や人を確保・準備しなければ	1
フォレストピアの職員の接客の仕方を見直してほしい。市外からの客があれば…と話しているのを聞いた。特に支配人の方(どんな人か知りませんが大勢で伺っても顔をみせられなかったと…)	1

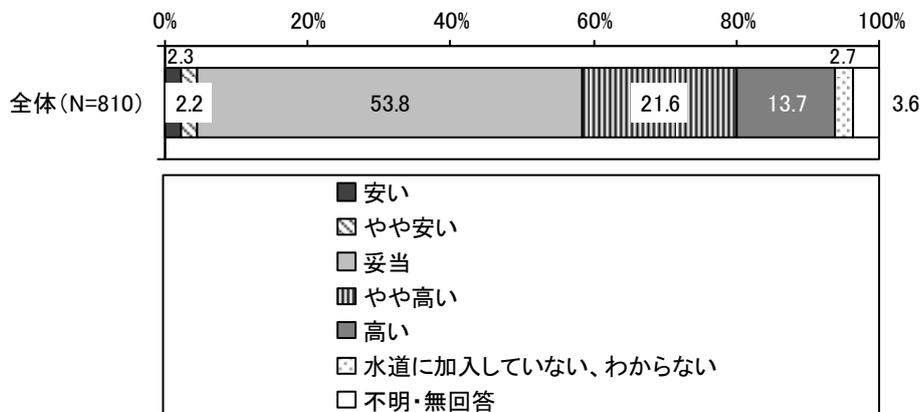
問 42 地域で活躍する人材を育成するための人材育成助成制度で、現行の助成制度以外で利用したいと思う助成制度の内容

調査票に記載されている項目	件数
海外研修事業	10
国内研修・視察事業	11
介護職員初任者の資格取得研修事業	4
狩猟免許取得事業	6
災害支援等国内ボランティア活動事業	6
新たなまちづくり事業（団体が対象）	10
スポーツ関連資格取得事業	2
レクリエーションインストラクター、レクリエーションリーダー資格取得事業	1
放課後児童支援員にかかる都道府県認定支援員資格取得研修事業	2
三重県農業大学校・都道府県立林業大学校授業料補助事業	7
現行の助成制度以外で利用したいと思う助成制度の内容	件数
外国語研修・学習	5
思い当たらない	3
高齢なので考えられない	3
なし	3
コーチング	2
利用したいと思わない	1
興味なし	1
少し、問われている事と違うかもしれませんが、高校・短大・専門学校・大学を卒業し、町内で就職した人の奨学金の援助	1
英会話	1
各自治体が地区の特色を出す。言い合う地域づくりを進めるための助成	1
商工・職人の育成	1
農業従事者を日々指導できる農業普及員等、実践型指導者など	1
介護職員責任者の資格取得研修事業	1
食文化に関する人材育成制度	1
特に学生さん対象で、メニューを先に決めないで希望を聞いてみてはどうか…	1
キルト・お茶・お花・編み物など趣味をいかした事業を目指したい時に取得する資格	1
人材育成の学校。あらゆる資格取得のための教育を充実させている場を作って欲しい	1
その制度を今知った。パソコン関連の資格	1
清流宮川での鮎釣りの案内	1
起業に対する支援	1
人と人を結ぶ交流の場→助け合い。資格だけ取得しても生かされなければ意味がない	1
看護師の育成	1
物作り、インターネット関連	1

現行の助成制度以外で利用したいと思う助成制度の内容	件数
金銭を支払ってまで体験させる施設を利用するより、義務教育や教育期間にて個性・創造性を育ませる人材育成が重要であると思う	1
物作りをする研修	1
登山・アウトドア体験の充実	1
シルバー人材の多種目の活動と研修	1
資格取得研修費(重機等)	1
ベビーシッター資格取得事業。母親が病気、美容院、法事出席時に預かる	1
自身の事ではないですが、医学を目指す子がいれば、学費の助成があればと思う。その中で、将来町に戻り医療に従事する仕組みがあればいい	1
ドローン資格取得、調理師資格取得	1
健康寿命を考えられる様なもの(今後、高齢化率がどんどん進む事は避けられないから)	1
資格取得のための補助制度(機械等)	1
逆提案。随時受付でなく4月と10月に提案会を開く。助成金の上限と割合は他より厚遇する	1
政策研修等勉強会	1
60歳～まだまだ働ける方がたくさんいると思う。そういう方達に働ける場所や職種の紹介などの幅があれば良いと思う	1
ビジネス合宿。アートや美術を学べるツアー・英語ビジネス英会話教室	1
終活アドバイザー育成・空き家対策・墓じまい・葬儀等	1
元気な人でまだまだ働ける人に体を動かすために、健康を保つために65歳から75歳までは元気で働ける場所を用意する。保育所・小学校の庭やガラス掃除の応援。公民館や神社の手入れ等させる	1
森林整備	1
仕事に生かせる資格取得	1
ワード・エクセル・パワーポ等	1
宇宙が見える(星とか)望遠鏡設置	1
情報系研修	1
外国人労働者への漢検	1
祭り	1
保育者の育成制度	1
対象は十分であるが、助成金の充実。町内で〇年間残る事を条件にする必要があるのでは？	1
いろいろな国家資格	1
ファシリテーターに関する資格	1
こんな所に金を使うな	1
パソコン関係	1
せっかくの助成制度ですが、特定の人にしか利用されていないのでは。周知不足で行政に近い人しか利用していない印象がある	1
介護ヘルパーについて全額負担で増員必要	1

問 43 現行の水道使用料金についてどう思うか（単数）

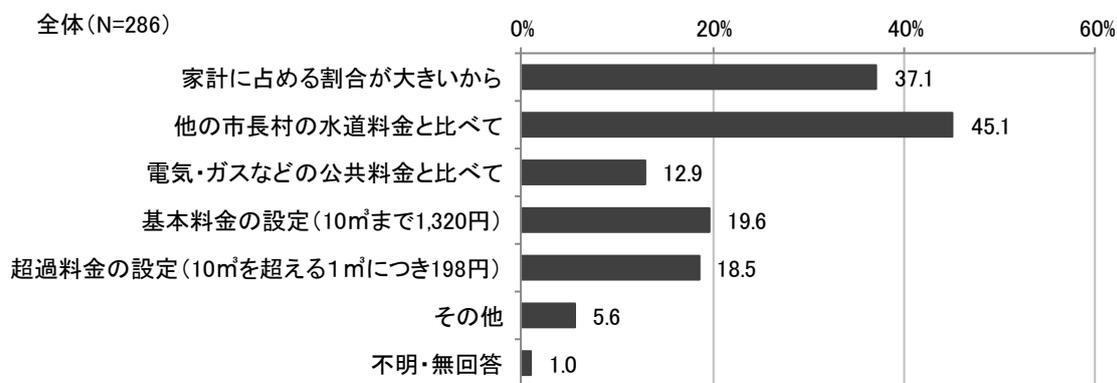
現行の水道使用料金についてどう思うかについてみると、「妥当」が53.8%と最も高く、次いで「やや高い」が21.6%となっています。



問 43 で「4. やや高い」「5. 高い」と答えた方

問 44 高いと思う理由（複数）

高いと思う理由についてみると、「他の市町村の水道料金と比べて」が45.1%と最も高く、次いで「家計に占める割合が大きいため」が37.1%となっています。



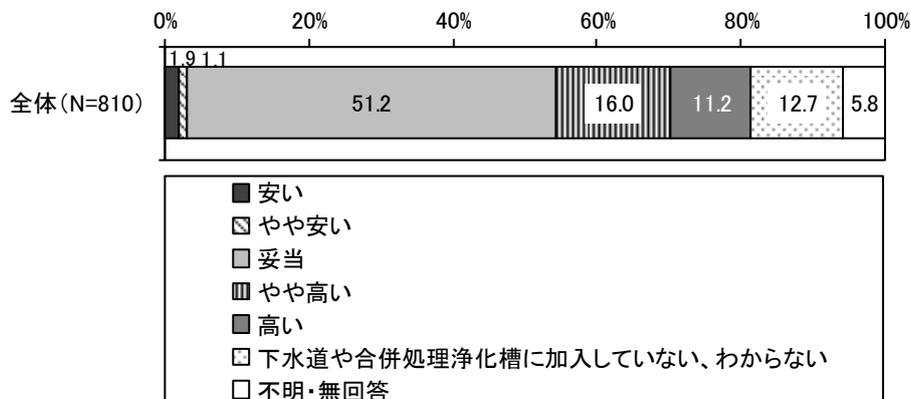
その他を選択した方の回答内容

内容	件数
以前の方が安い	3
水がおいしくない	2
生きるため必要不可欠なものだから値がついて当たり前だが、生きるために必要なものだから安価が良い	1

内容	件数
旧大台町の負担を旧宮川村に負担するのはおかしい	1
宮川の水を利用出来れば安く出来るのでは？	1
安い方がいい	1
大台町の水を利用して安くする	1
町内でも水源地が違うためか料金も高いし、水槽も悪い。町内で料金が違う。助成して欲しい	1
基本料金は安いですが節水出来ない	1
洗車・散水等の水は水道水でなくても良い	1

問 45 現行の生活排水使用料金についてどう思うか（単数）

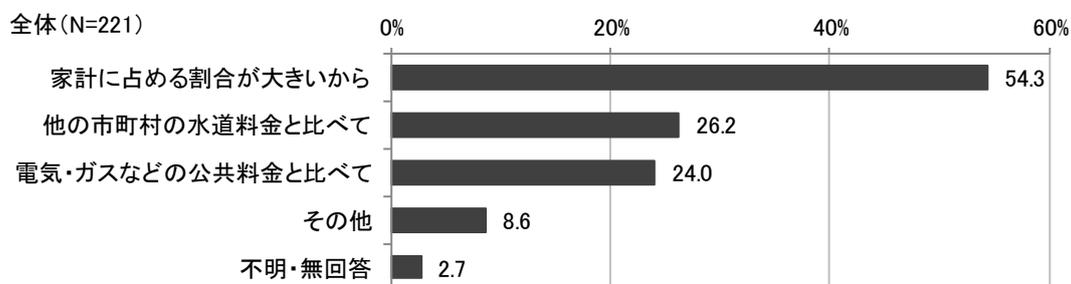
現行の生活排水使用料金についてどう思うかについてみると、「妥当」が51.2%と最も高く、次いで「やや高い」が16.0%となっています。



問 45 で「4. やや高い」「5. 高い」と答えた方

問 46 高いと思う理由（複数）

高いと思う理由についてみると、「家計に占める割合が大きいから」が54.3%と最も高く、次いで「他の市町村の水道料金と比べて」が26.2%となっています。

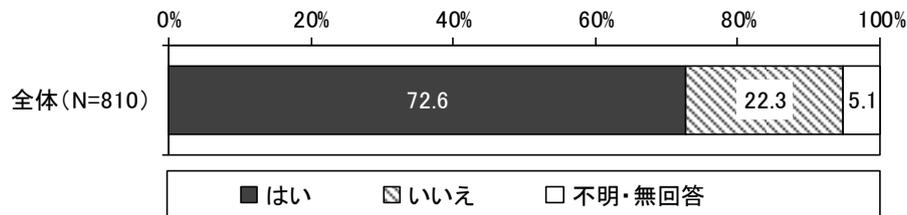


その他を選択した方の回答内容

内容	件数
料金形態	10
浄化槽について	5
人口の少ない地域での運営は難しいと思うが	1

問 47 各区について地域活動における担い手の確保に向けた、住民自身による話し合いが必要と思うか（単数）

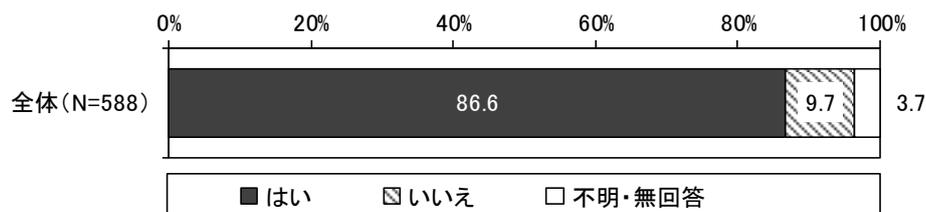
各区について地域活動における担い手の確保に向けた、住民自身による話し合いが必要と思うかについてみると、「はい」が72.6%、「いいえ」が22.3%となっています。



問 47 で「1. はい」と答えた方

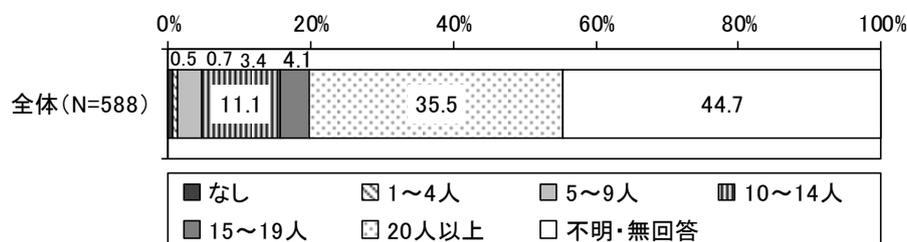
問 48 ①役場の関与の必要性（単数）

役場の関与の必要性についてみると、「はい」が86.6%、「いいえ」が9.7%となっています。



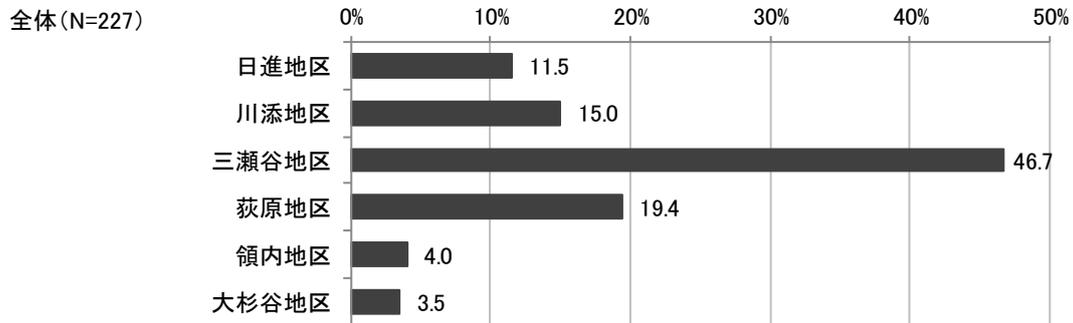
②話し合いを呼びかけて集まる人数

話し合いを呼びかけて集まる人数についてみると、「20人以上」が35.5%と最も高く、次いで「10～14人」が11.1%となっています。



③お住まいの区

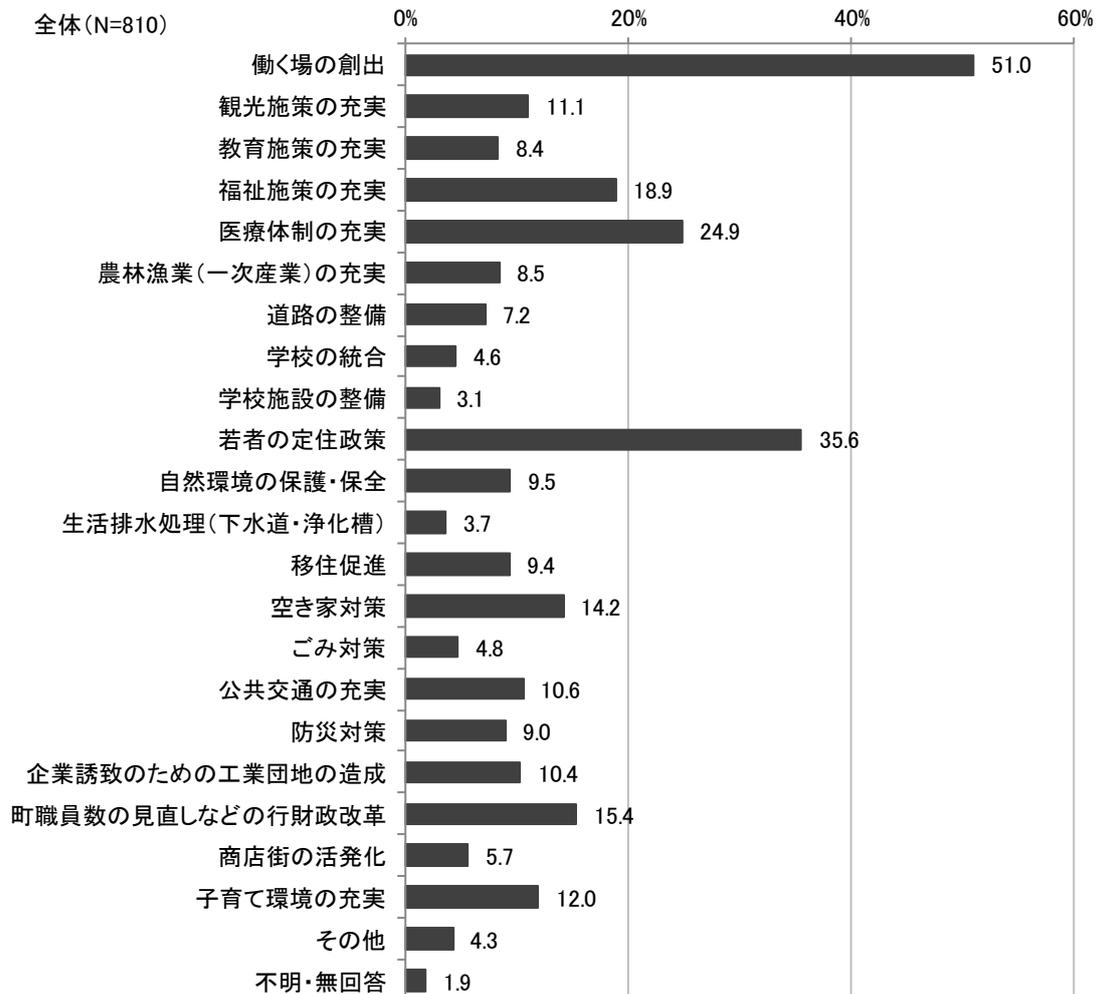
お住まいの区についてみると、「三瀬谷地区」が46.7%と最も高く、次いで「荻原地区」が19.4%となっています。



※このグラフは、「不明・無回答」を除いて算出しています。

問 49 自分が町長だったら、力を入れること（3つまで複数）

自分が町長だったら、力を入れることについてみると、「働く場の創出」が51.0%と最も高く、次いで「若者の定住政策」が35.6%となっています。



その他を選択した方の回答内容

内容	件数
福祉	4
商業・経済	4
議員削減	4
情報発信	3
公共施設	2
空家活用	2
雇用・企業支援	2
インフラ	2
獣害対策	2
すべて	2
わからない	2
観光	1
税金など	1
環境	1
人口増加対策	1
町長自身で考えてください	1
専門的な(一流)コーディネーターを招き部外の意見を取りやめる	1
地域コミュニティの充実(当初は補助金を与え形を作る)	1
全ての行政の透明化と住民との信頼関係の充実であるヘッドは、行動してくれる人々が多くいてくれてその方々が手や足となって働いて信頼を得なければならない	1
町職員が町に対し夢をもって働けるための教育(研修等)。上の項目すべてが出来るように思う	1
それぞれ管轄があると思うがすべてが良い方向に向くよう、つながる行政になるようにしたいと考える	1
中央省庁の誘致	1
補助金の廃止	1
バス・電車の便がよくなり働きに出やすい環境作り。若者が働けるように、県外に学校卒業すると出てしまうので空家バンクの推進など	1

まちづくり町民アンケート調査結果報告書

令和2年3月発行

発行 大台町

編集 大台町 企画課

電 話 : 0598-82-3782

F A X : 0598-82-1618